

令和8年度

農業用施設整備事業

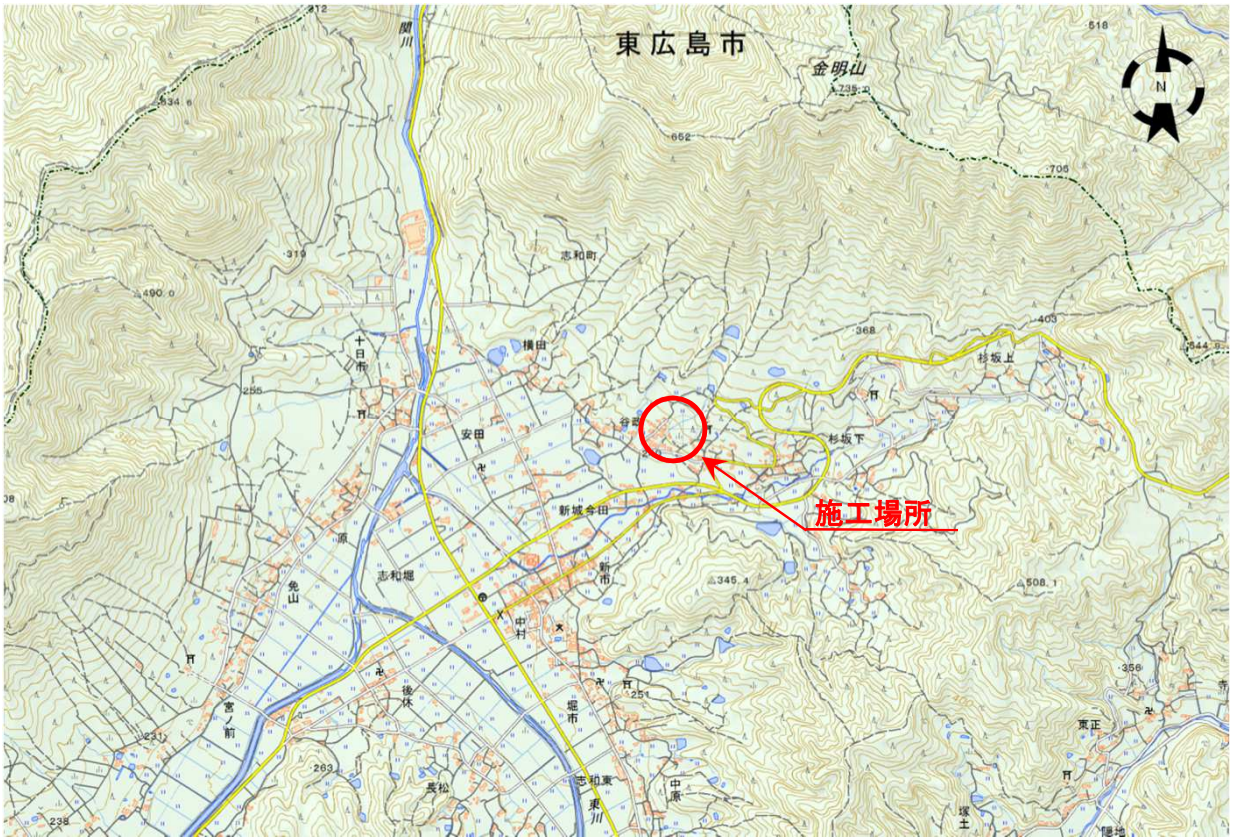
谷政水路改良工事

仕様書

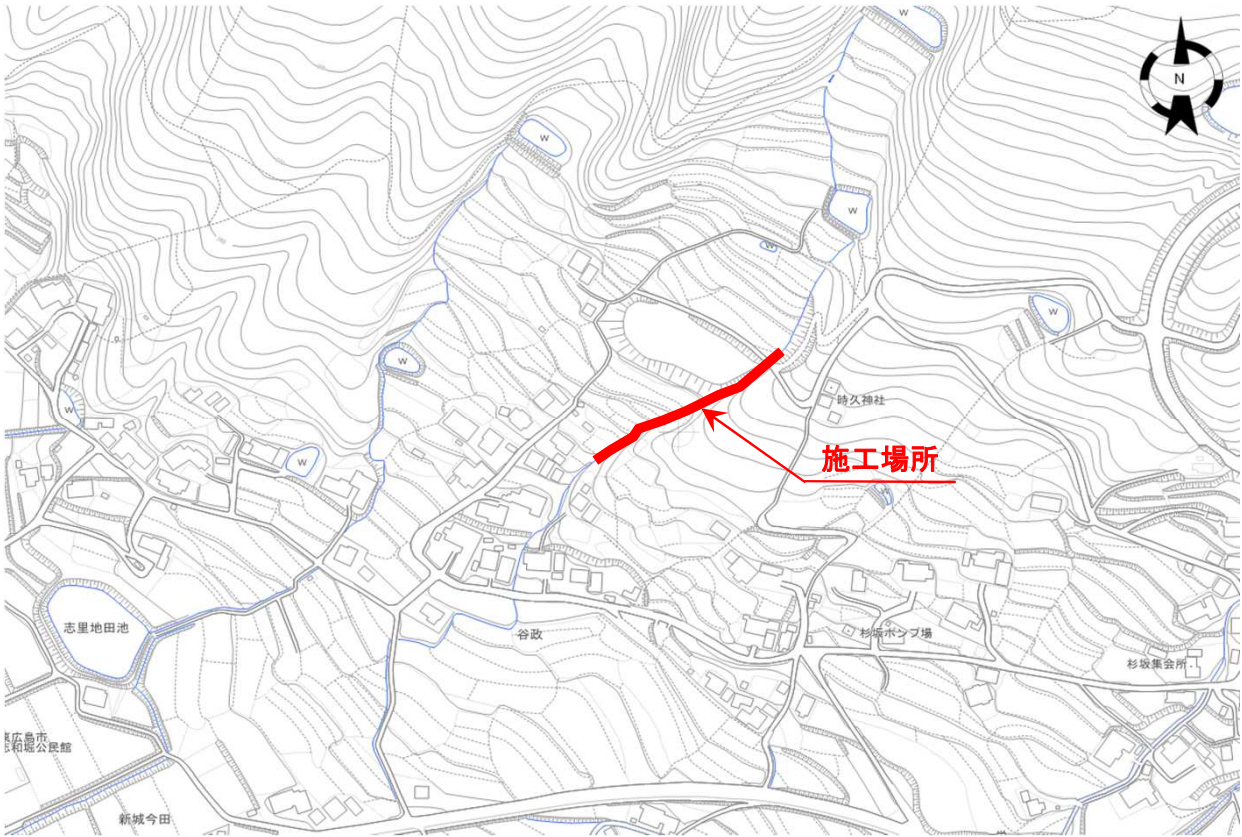
施 工 場 所 東広島市志和町志和堀

谷政水路

【 広 域 図 】



【 詳 細 図 】



特 記 仕 様 書

(谷政水路改良工事)

第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 履行報告
5. 工事中情報共有システム（受注者希望型）
6. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
7. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
8. 法定外の労災保険の付保
9. 週休2日適用工事等 週休2日（農林工事）
10. 建設副産物の取り扱いについて
11. 猛暑時間の施工回避
12. 猛暑日等を考慮した工期延長について
13. 熱中症による健康障害発生時の対応計画

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料
2. 品質規格証明資料等
3. 溶融スラグを利用した資材の使用

第3章 施工条件

1. 安全対策
 - (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
2. 建設副産物
 - (1) コンクリート殻（有筋）（搬出）

第4章 その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等
4. 暗渠排水の有無（農地）

特記仕様書

第1章 総則

1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）」及び東広島市制定の第15編下水道編(最新版)に基づいて実施しなければならない。
この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-26第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (2) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (3) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (4) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (5) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (6) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (7) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」」と読み替える。
- (8) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。
- (9) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と「建設業者等指名除外要綱別表第18号」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱別表第22号」と読み替える。
- (11) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (12) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。

(13) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあつては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
 - 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
 - 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日（東広島市の休日を定める条例（平成元年東広島市条例第6号）第1条第1項に規定する市の休日を除く。）を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。
- ※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4. 履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図（施工済み箇所を着色）又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月7日までに提出すること。

5. 工事中情報共有システム（受注者希望型）

- (1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象（受注者希望型）である。
- (2) 工事中情報共有システムを利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。
広島県工事中情報共有システム（一般社団法人 広島県土木協会）
<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyoushoushisutemu2.html>
- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
- (5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。
- (6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。

この場合においては、次のとおりとする。

- 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。
- 2) 「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
- 3) 「4.検査」は適用しない。

- 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
- 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

6. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- (2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間(12月29日～1月3日)、夏季休暇3日間(国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。)、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。)期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数(WBGT)が25度以上の日をいう。
ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数(WBGT)を対象とする。
- (4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数(WBGT)を用いることを標準とする。
- (5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間(計測開始日、計測終了予定日)を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
- (6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
- (7) 積算方法は次のとおりとする。
 - 1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値(%)＝真夏日率×1.2
 - 2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- (8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。
- (9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

7. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

8. 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

9. 週休2日適用工事等 週休2日(農林工事)

本工事は、週休2日適用工事(発注者指定型)であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領(農林工事)(最新版)」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要のある様式「休日取得計画表」は「検査課HP>施工関連資料>週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

10. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土の搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

11. 猛暑時間の施工回避

1 本工事は、現場環境に応じて猛暑時間帯の現場作業を回避し、作業の開始時間や終了時間を発注者と協議し設定できる工事である。

2 実施方法は次のとおりとする。

(1) 内容

ア 受注者は、現場環境に応じて猛暑時間帯の現場作業を回避し、作業の開始時間や終了時間を監督職員と協議し設定できる。

イ 作業時間を短縮した場合は、短縮時間に応じて、工期を延長することができるものとする。

ウ 工事における現場の立会等については、監督職員の勤務時間に合わせるものとする。

エ 対象期間は、6月1日から9月30日までとする。

(2) 工期延長日数の算出方法

工期の延長日数^{※1}(日)＝短縮時間(時間)×対象期間^{※2}(日)÷8(時間)

なお、猛暑日等による作業不能日とは、別に考慮できるものとする。

※1 小数第1位を切り上げるものとする。

※2 現場閉所日を含む。

3 作業時間の変更に伴う工事費の増額については、設計変更の対象としない。

12. 猛暑日等を考慮した工期延長について

1 本工事は、工期に「猛暑日等による作業不能日」として、休日(土日、祝日、年末年始休暇及び夏期休暇)、降雨降雪日及び猛暑日日数を53日見込んでいる。

「猛暑日等による作業不能日」＝施工に必要な実日数×雨休率

雨休率(休日、降雨降雪日及び猛暑日日数による作業不能日を見込むための係数)： 0.78
雨休率に見込んでいる作業不能日は、次のとおりである。(過去5年間の気象庁及び環境省のデータより年間の平均発生日数を算出)

(1) 1日の降雨・降雪量が10mm/日以上の日： 31日/年

(2) 8時から17時までのWBGT値が31以上の時間を足し合わせた日数： 5日/年

2. 著しい悪天候や気象状況より「猛暑日等による作業不能日」が当初見込んでいる日数と著しく乖離し、かつ作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は監督職員へ工期の延長変更を協議することができる。

・受注者は、協議の際に気象庁及び環境省の計測データ等を監督職員へ提出すること。計測データは、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所及び環境省が公表している観測地点を用いることを標準とする。

なお、提出する必要がある様式「猛暑日等による作業不能日算出表」は「広島県の調達情報HP>公共工事等の情報_様式集>建設工事関係_その他契約関係様式」に掲載している。

・費用は、工期延長日数に応じて「工事における工期の延長等に伴う増加費用の積算」(土木工事標準積算基準書(共通編)第Ⅰ編総則 第9章)に基づき増加費用を積算し、変更契約において計上する。

13. 熱中症による健康障害発生時の対応計画

1. 猛暑による厳しい環境下での現場作業^{*}が見込まれる工事を対象とする。

※WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で、連続1時間以上又は1日4時間を超える作業

2. 受注者は、熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に、迅速かつ的確な判断ができるよう、「緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先や所在地」及び「作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等の熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順」などを施工計画書の「緊急時の体制及び対応」項目に記載するとともに、工事関係者へ周知すること。

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた後に行うものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S製品以外

2. 品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S製品以外

3. 熔融スラグを利用した資材の使用

1. 熔融スラグを利用した資材の使用

再生加熱アスファルト混合物、プレキャストコンクリート製品、再生路盤材及び埋戻材等については、広島中央環境衛生組合が製造する熔融スラグ(以下「熔融スラグ」という。)を利用した資材を使用するよう努めるものとする。熔融スラグ利用及び使用する資材にあたっては「熔融スラグの有効利用促進等に関する方針」「熔融スラグ有効利用ガイドライン【品質編】、【運用編】」に準拠するものとする。なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議すること。

2. 品質管理及び確認

1. で示したもののほか、熔融スラグを利用した資材の使用における品質の管理及び確認は、広島版「土木工事共通仕様書(令和7年8月)」及び広島版「施工管理基準(令和7年8月)」によるものとする。ただし、書類により品質が確保できる項目においても、監督職員が必要と認めるものは現場検収を実施できるものとする。

3. 再生加熱アスファルト混合物への使用

熔融スラグを再生加熱アスファルト混合物に使用する場合、広島版「土木工事共通仕様書(令

和7年8月)」の「1-1-2-16 環境対策」に示す登録リサイクル製品の使用は適用しないものとする。

4. 適合規格

溶融スラグの適合規格については、広島版「土木工事共通仕様書(令和7年8月)」に記載の適合規格(「2-2-3-1 一般事項 1.」)ではなく、「JIS A 5031 一般廃棄物, 下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化したコンクリート用溶融スラグ骨材」を適用するものとする。

第3章 施工条件

1. 安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・交通誘導警備員は見込んでいない。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の配置が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

2. 建設副産物

(1) コンクリート殻(有筋)(搬出)

当該工事により発生するコンクリート殻(有筋)は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 6.3 km を見込んでいる。

第4章 その他

1. 工事関係書類

(1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領「土木工事編」によるものとする。

(2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準(令和7年8月)」によるものとし、納品に当っては、電子媒体又は紙媒体、情報共有システム登録のいずれかとする。

なお、電子納品物は「広島県電子納品実施要領」に準拠し、作成すること。

3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

4. 暗渠排水の有無(農地)

現場作業着手前に、当該農地の既設暗渠排水の有無を確認すること。既設暗渠排水がある場合は、位置及び現在の排水機能について地権者等による立会確認を行うこと。

工事数量総括表

頁0 -0001

	費目・工種明細など	規格 1 ・ 規格 2	単 位	数量（前回）	数量（今回）	備 考
本工事費						
水路工事			式		1	レベル 1
土工			式		1	レベル 2
掘削工			式		1	レベル 3
掘削			m3		17	レベル 4
盛土工			式		1	レベル 3
盛土			m3		99	レベル 4
作業土工			式		1	レベル 3
床堀			式		1	レベル 4
埋戻し			式		1	レベル 4
整形仕上げ工			式		1	レベル 3
法面整形（切土部）			m2		14	レベル 4
法面整形（盛土部）			m2		29	レベル 4
法面保護工			式		1	レベル 3
植生シート			m2		42	レベル 4
水路工			式		1	レベル 2
水路工			式		1	レベル 3
1号水路		B600-H800 L=2000	m		8.5	レベル 4

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格 1 ・ 規格 2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	備 考
2号水路	B700-H800 L=2000	m		83.7	レベル 4
2号水路	B700-H800 L=1000	m		1	レベル 4
1号落差工	B700 × H800 L=1500	箇所		2	レベル 4
2号落差工	B700 × H800 L=1500	箇所		33	レベル 4
1号分水工	B700-H800	箇所		1	レベル 4
2号分水工	B700-H800	箇所		5	レベル 4
1号管渠工	HP φ 800 90 ° 基礎	m		15.3	レベル 4
4号集水枥		箇所		1	レベル 4
5号集水枥		箇所		1	レベル 4
分水工	VU管 φ 100	m		20.8	レベル 4
VU管	φ 50	m		1.0	レベル 4
VU管	φ 100	m		0.6	レベル 4
VU管	φ 150	m		4.6	レベル 4
田面排水ボックス		箇所		2	レベル 4
角フリューム	KF300	m		1.1	レベル 4
簡易床版	T-2 (t=0.1, W=1.0) L=1.3	箇所		4	レベル 4
受台	固定側	箇所		4	レベル 4
受台	可動側	箇所		4	レベル 4

工事数量総括表

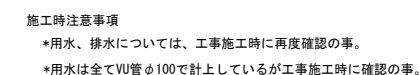
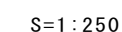
頁0 -0003

費目・工種明細など	規格 1 ・ 規格 2	単 位	数量（前回）	数量（今回）	備 考
1号補強コンクリート		箇所		4	レベル 4
2号補強コンクリート		箇所		16	レベル 4
構造物撤去工		式		1	レベル 2
構造物取壊し工		式		1	レベル 3
コンクリート構造物取壊し		m3		2	レベル 4
殻運搬・処理		m3		2	レベル 4
仮設工		式		1	レベル 2
仮設工		式		1	レベル 3
仮設道路工	盛土	式		1	レベル 4
水替え工		式		1	レベル 4
直接工事費					
共通仮設費率分額					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費率分					
契約保証費					

工事数量総括表

頁0 -0004

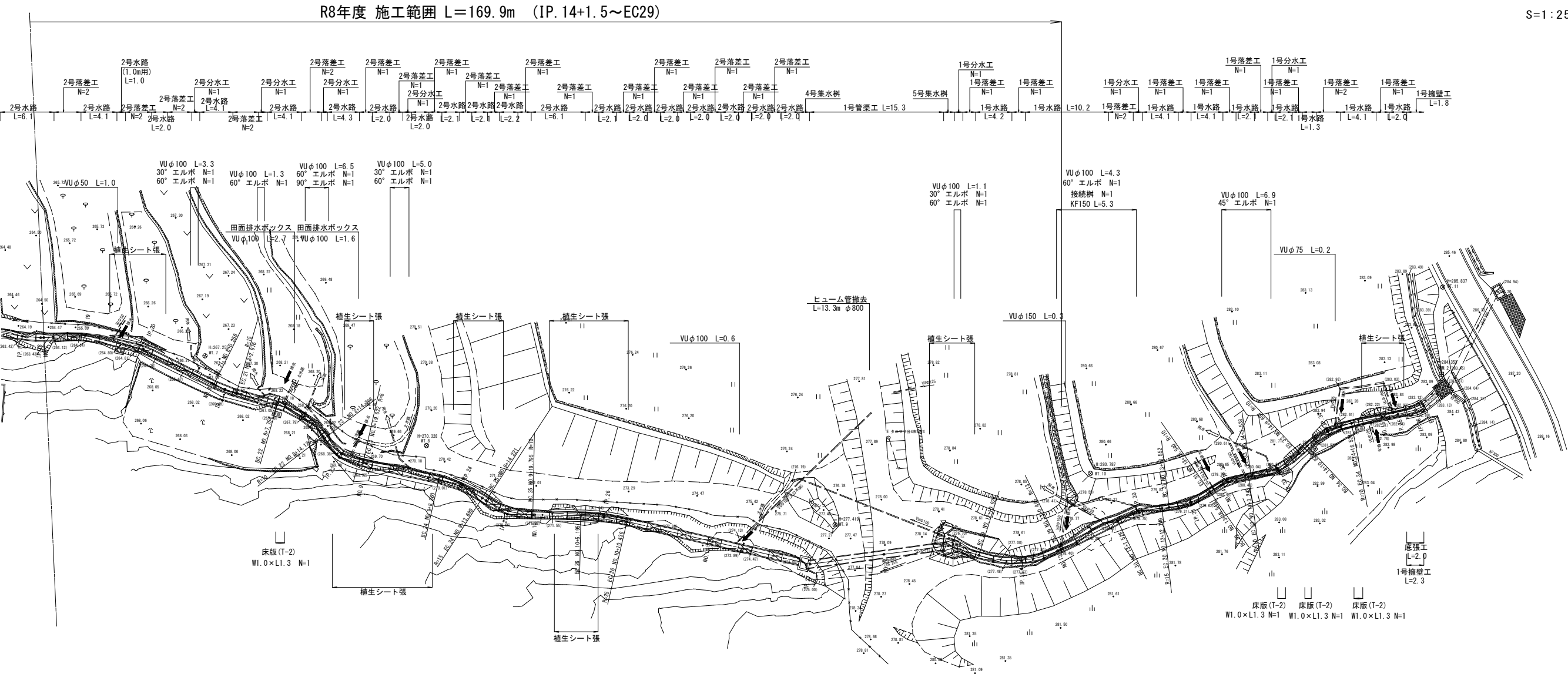
[illegible]



図面番号		縮 尺	S=1:250
工 種	農 業 用 施 設 整 備 事 業		
種 別	平 面 図	縮 尺	1 /
路線 河川 名	谷 政 水 路		
工事箇所	東 広 島 市 志 和 町 志 和 堀		
東 広 島 市			

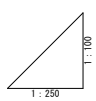


S=1:250



施工時注意事項
*用水、排水については、工事施工時に再度確認の事。
*用水は全てVU管φ100で計上しているが工事施工時に確認の事。

図面番号	縮 尺		S=1:250
工 種	農 業 用 施 設 整 備 事 業		
種 別	平 面 図		冊 2 / 2
路線 河川	谷 政 水 路		
工事箇所	東広島市志和町志和堀		
東 広 島 市			

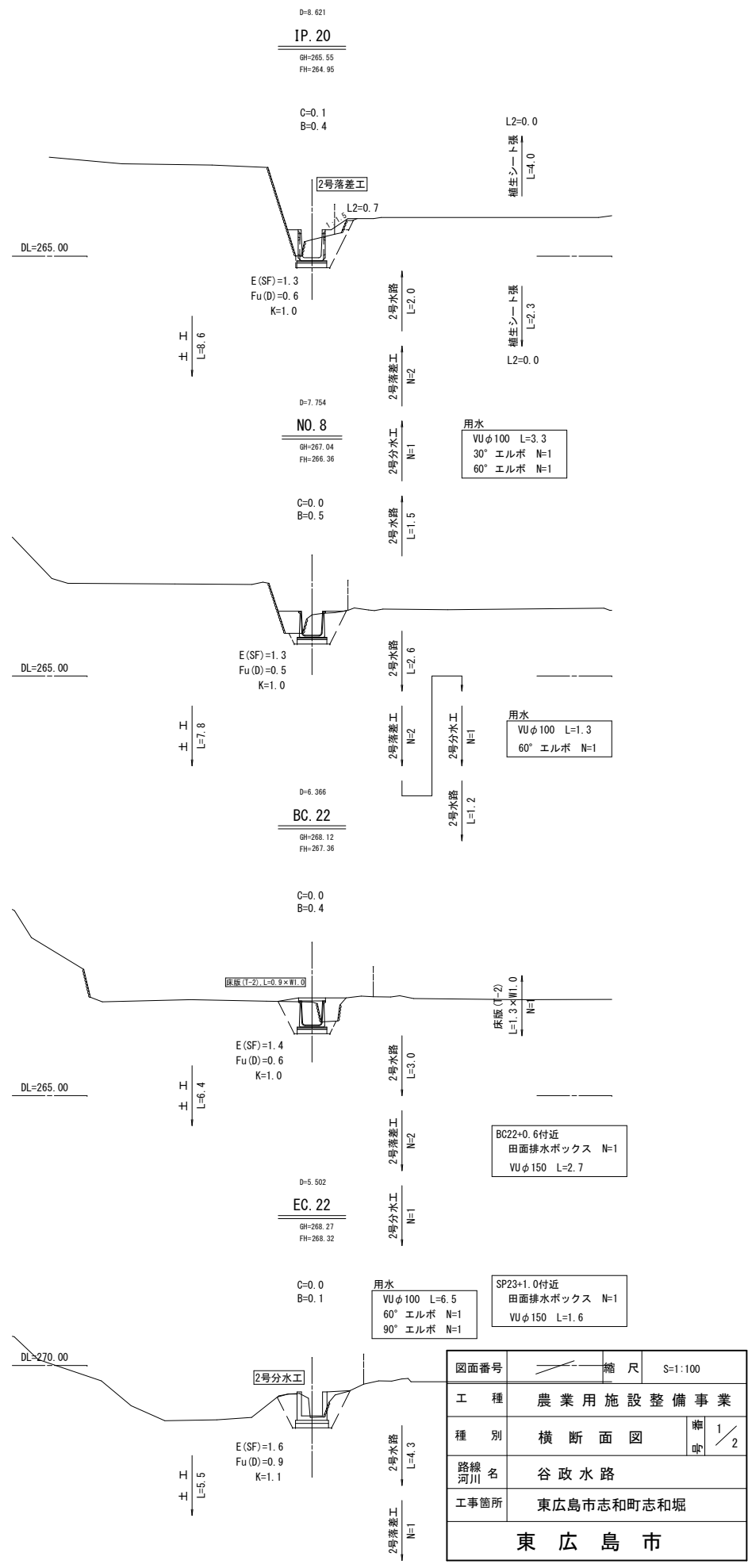
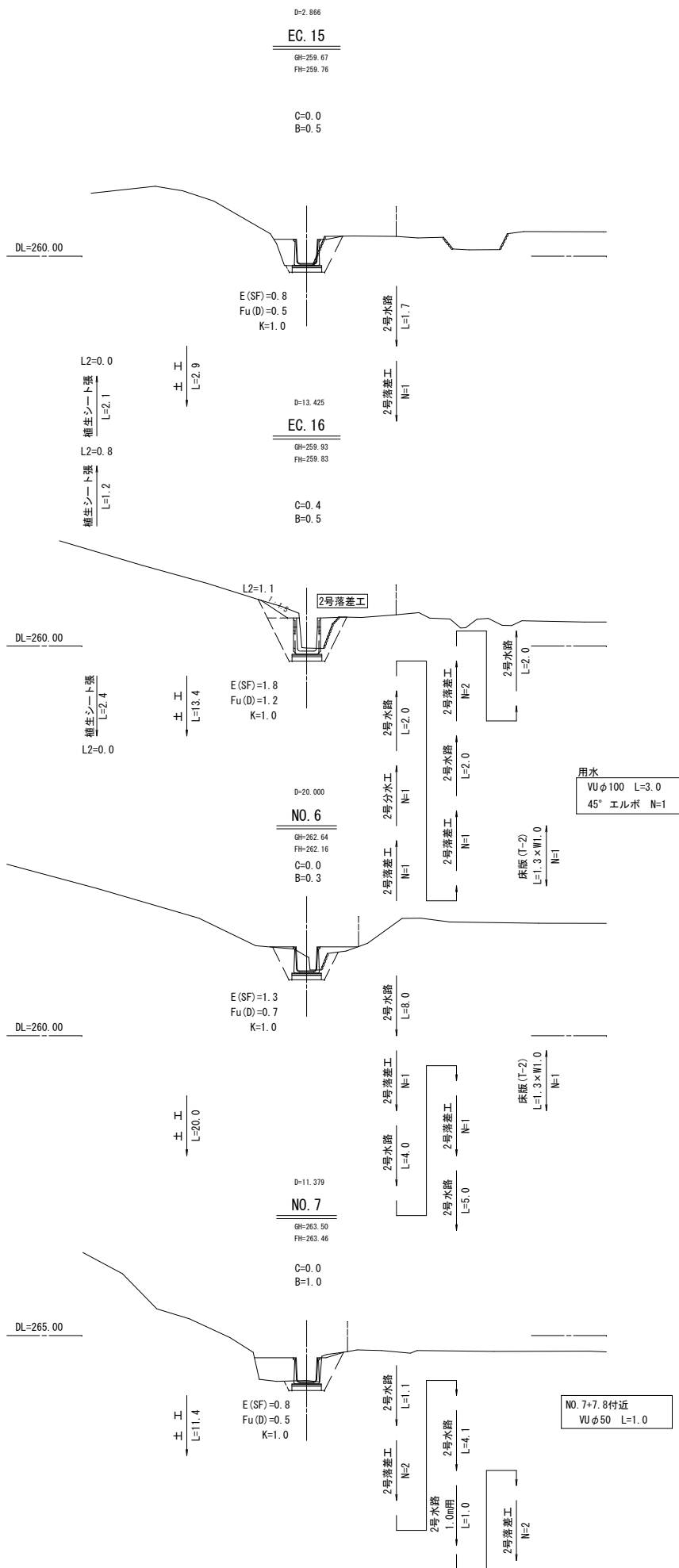
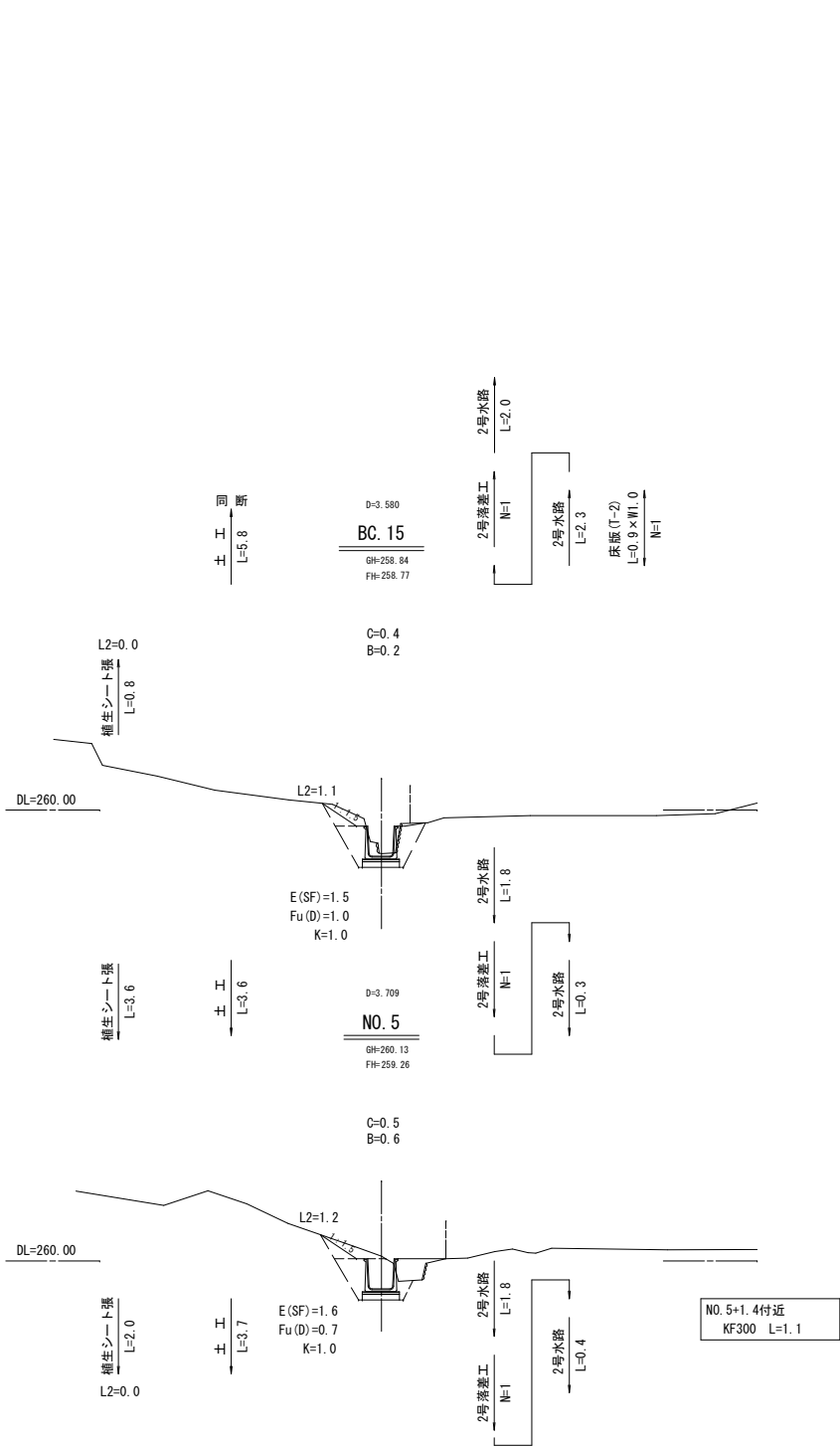


図面番号	縮尺	図示
工種	農業用施設整備事業	
種別	縦断面図	縮小 1/2
路線河川名	谷政水路	
工事箇所	東広島市志和町志和堀	
東 広 島 市		

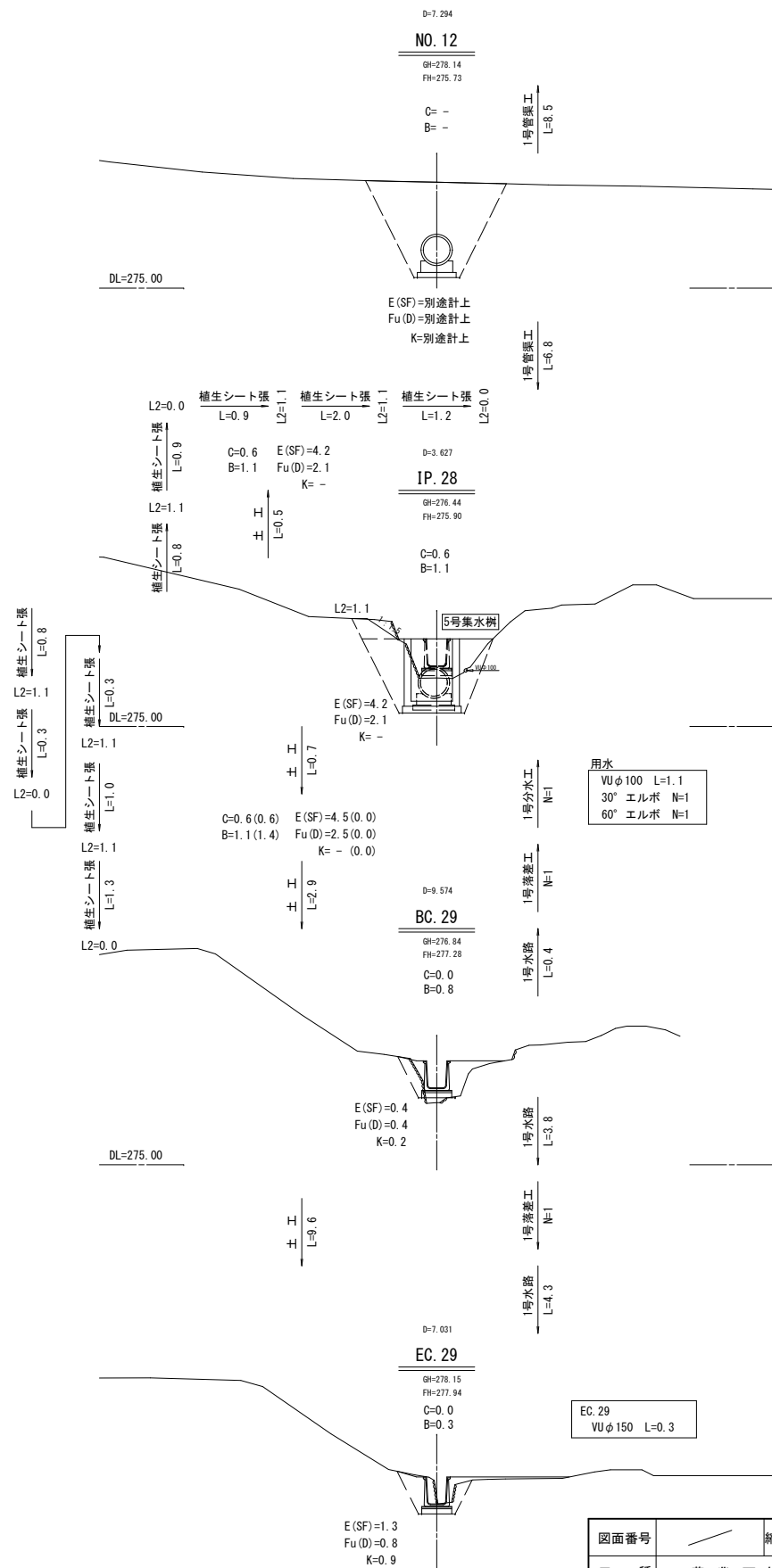
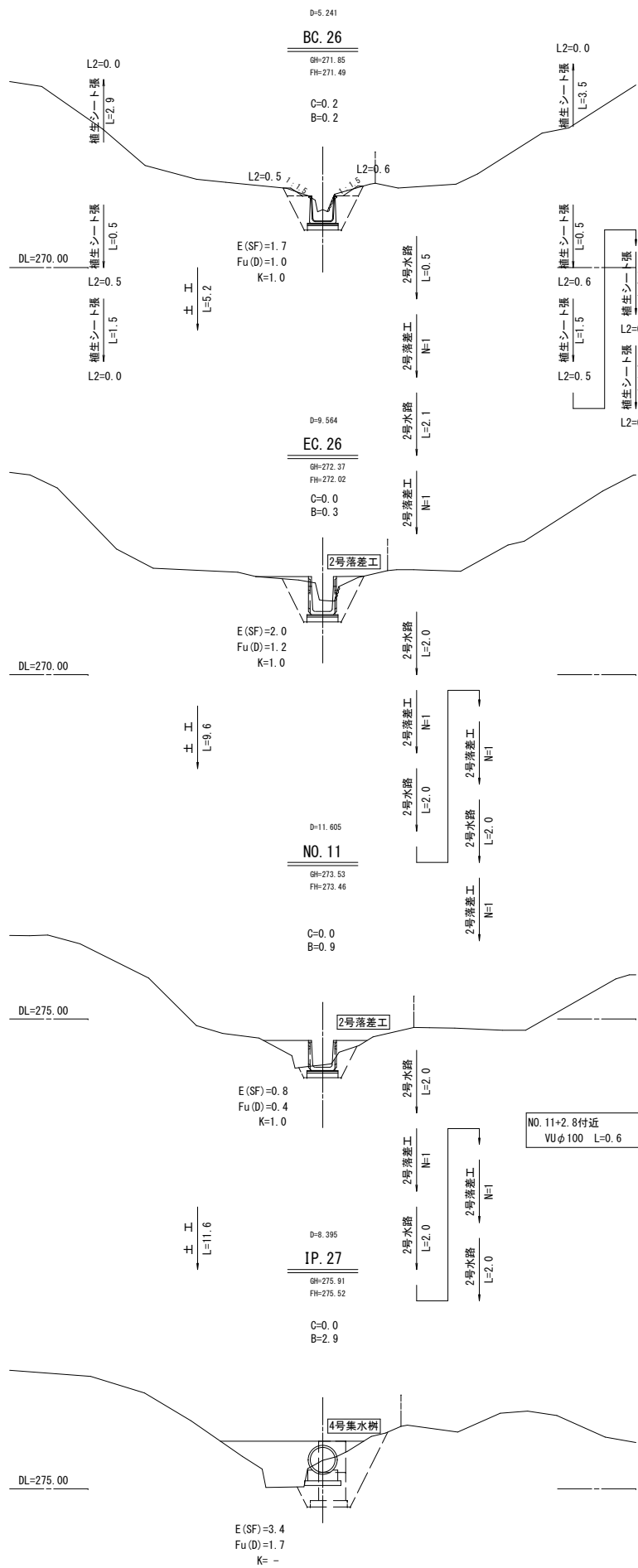
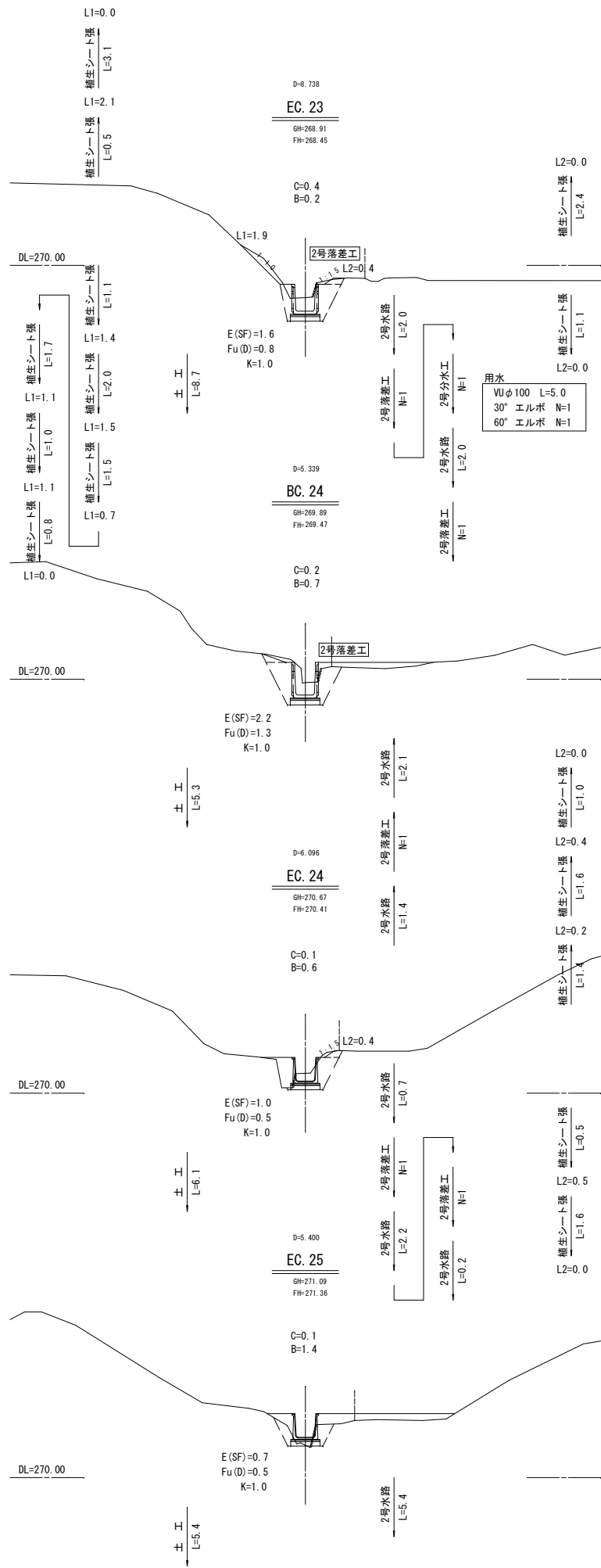


1 : 250

図面番号	縮尺	図示
工種	農業用施設整備事業	
種別	縦断面図	1/2
路線 河川名	谷政水路	
工事箇所	東広島市志和町志和堀	
東 広 島 市		



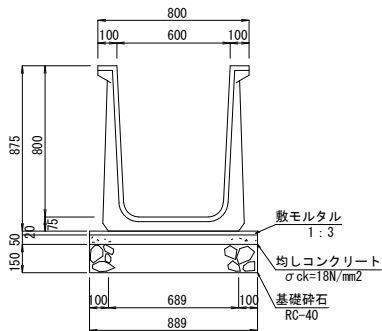
図面番号	総尺	S=1:100
工種	農業用施設整備事業	
種別	横断面図	縮尺 1/2
路線名	谷政水路	
工事箇所	東広島市志和町志和堀	
東広島市		



図面番号	縮 尺		S=1:100
工 種	農 業 用 施 設 整 備 事 業		
種 別	横 断 面 図		縮 尺 2 / 2
路線 名	谷 政 水 路		
工事箇所	東広島市志和町志和堀		
東 広 島 市			

1号水路

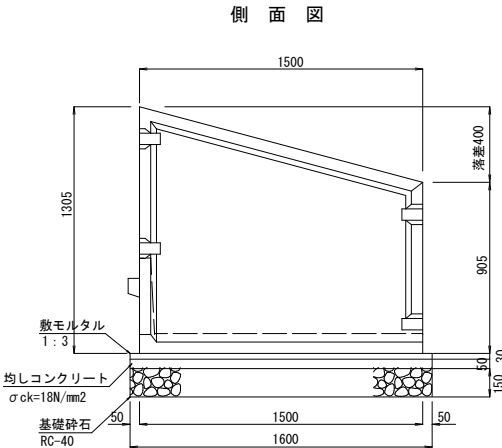
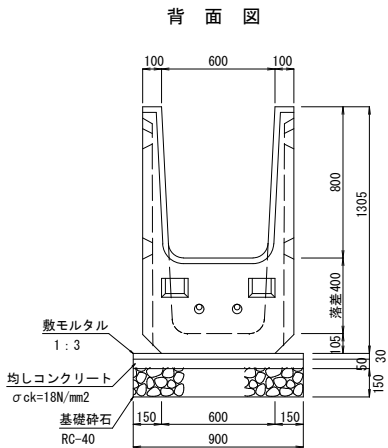
S=1:20



材料表				10m当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量		
大型フリューム	B600×H800	本	5.0		
敷モルタル	1:3	m3	0.178		
均しコンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.44		
均し型枠		m2	1.00		
基礎砕石	RC-40, t=150	m2	8.89		

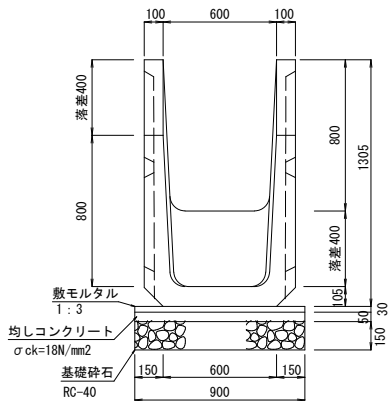
1号落差工

S=1:20



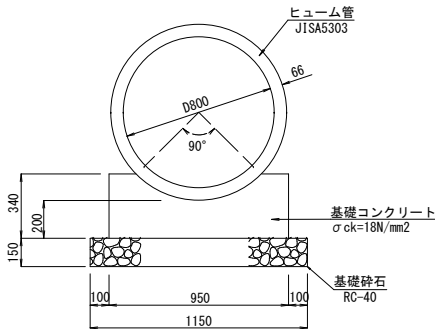
材料表				1ヶ所当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量		
落差工	B600×H800、L=1500	本	1.0		
敷モルタル	1:3	m3	0.043		
均しコンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.07		
均し型枠		m2	0.16		
基礎砕石	RC-40, t=150	m2	1.44		

正面図



1号管渠工

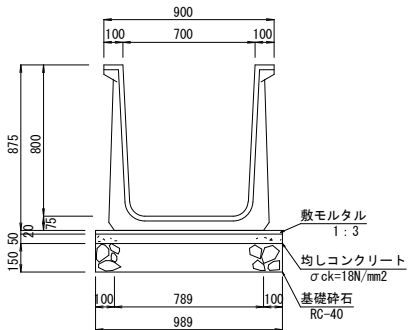
S=1:20



材料表				10m当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量		
ヒューム管	φ800	本	4.1		
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	2.587		
型枠	小型 I	m2	6.80		
基礎砕石	RC-40, t=150	m2	11.50		

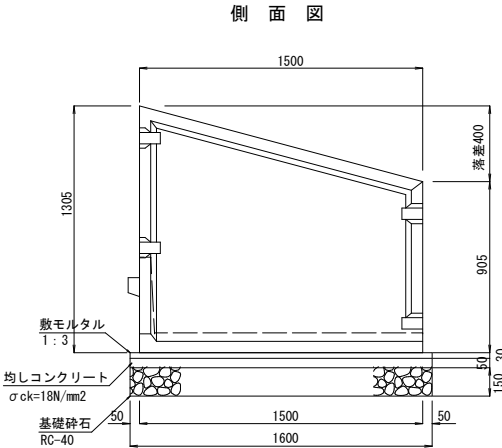
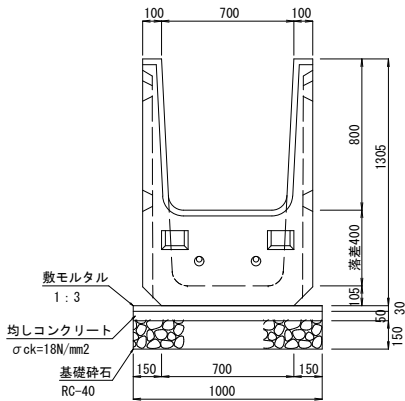
2号水路

S=1:20



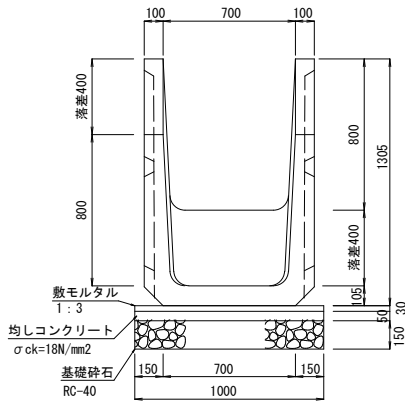
材料表				10m当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量		
大型フリューム	B700×H800	本	5.0(10.0)		
敷モルタル	1:3	m3	0.198		
均しコンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.49		
均し型枠		m2	1.00		
基礎砕石	RC-40, t=150	m2	9.89		

背面図



材料表				1ヶ所当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量		
落差工	B600×H800、L=1500	本	1.0		
敷モルタル	1:3	m3	0.048		
均しコンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.08		
均し型枠		m2	0.16		
基礎砕石	RC-40, t=150	m2	1.60		

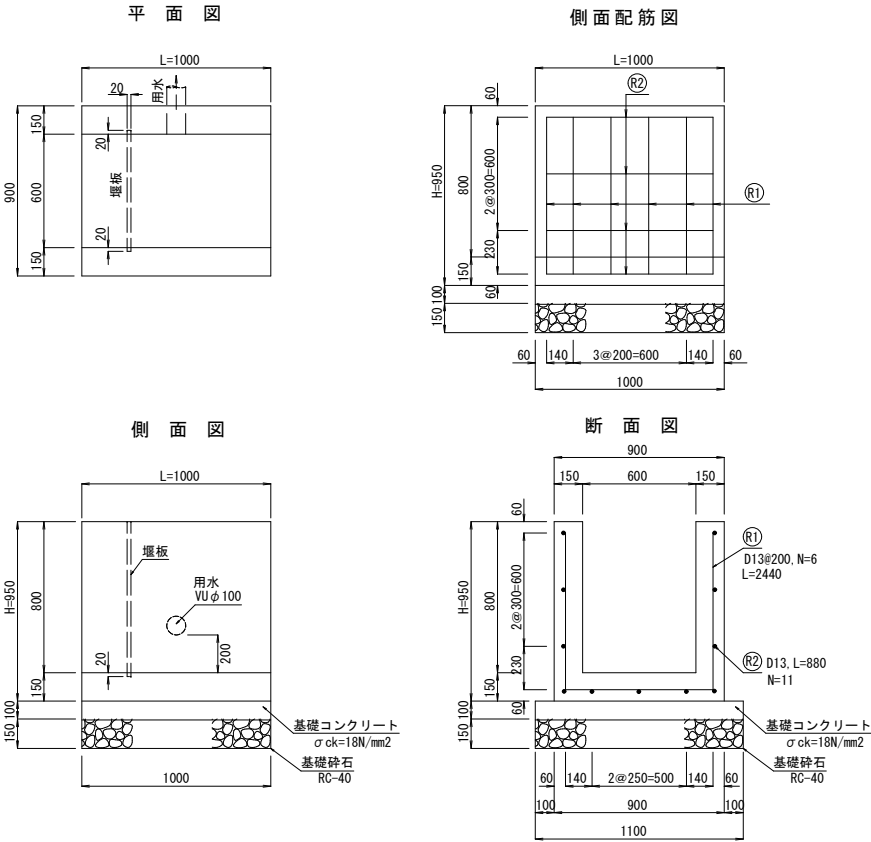
正面図



図面番号	／	縮 尺	図 示
工 種	農 業 用 施 設 整 備 事 業		
種 別	構 造 図		縮 尺 1／3
路線 河川 名	谷 政 水 路		
工事箇所	東広島市志和町志和堀		
東 広 島 市			

1号分水工

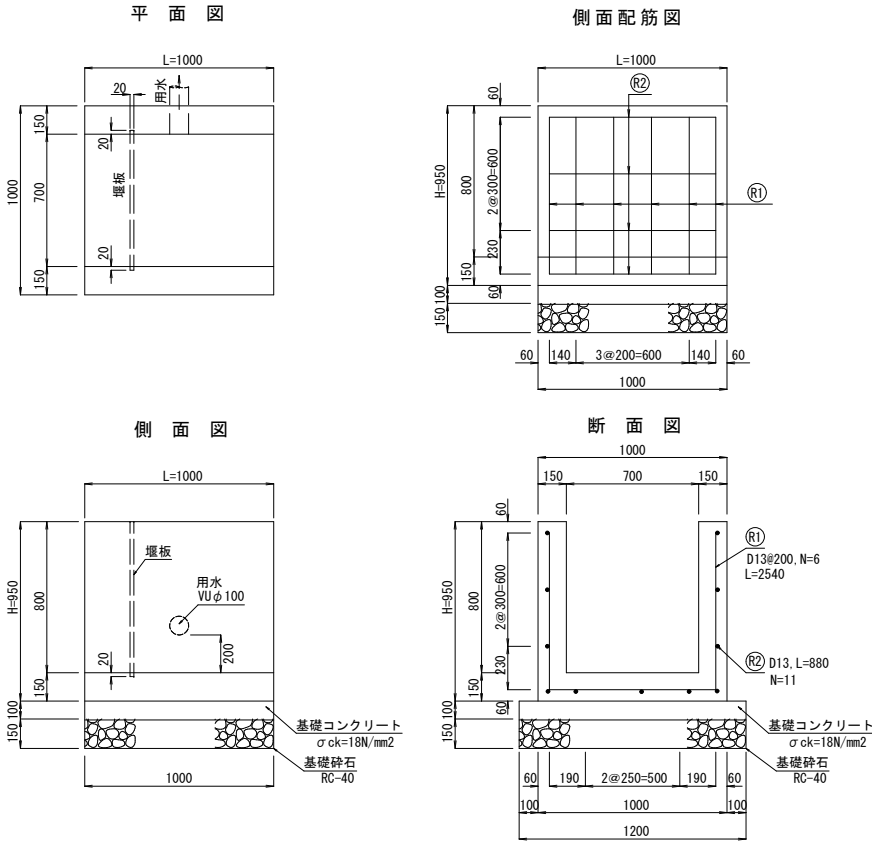
S=1:20



材料表		1ヶ所当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.38
型 枠	鉄筋	m ²	3.50
鉄 筋	D13, SD345	kg	24.2
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.11
基礎型枠		m ²	0.20
基礎砕石	RC-40, t=150	m ²	1.10

2号分水工

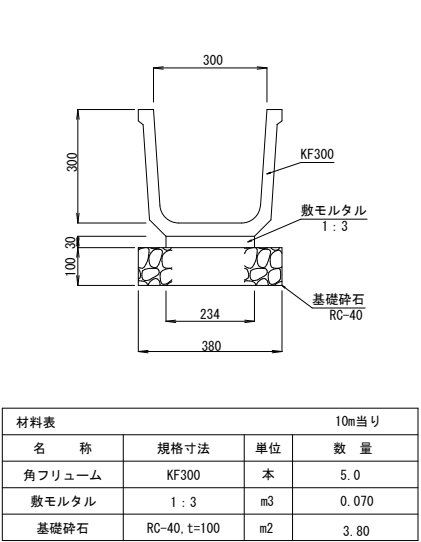
S=1:20



材料表		1ヶ所当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.39
型 枠	鉄筋	m ²	3.50
鉄 筋	D13, SD345	kg	24.8
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.12
基礎型枠		m ²	0.20
基礎砕石	RC-40, t=150	m ²	1.20

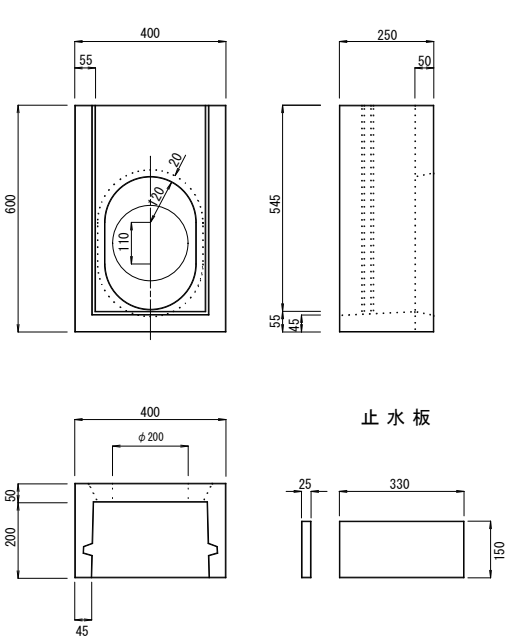
KF300

S=1:10



田面排水ボックス

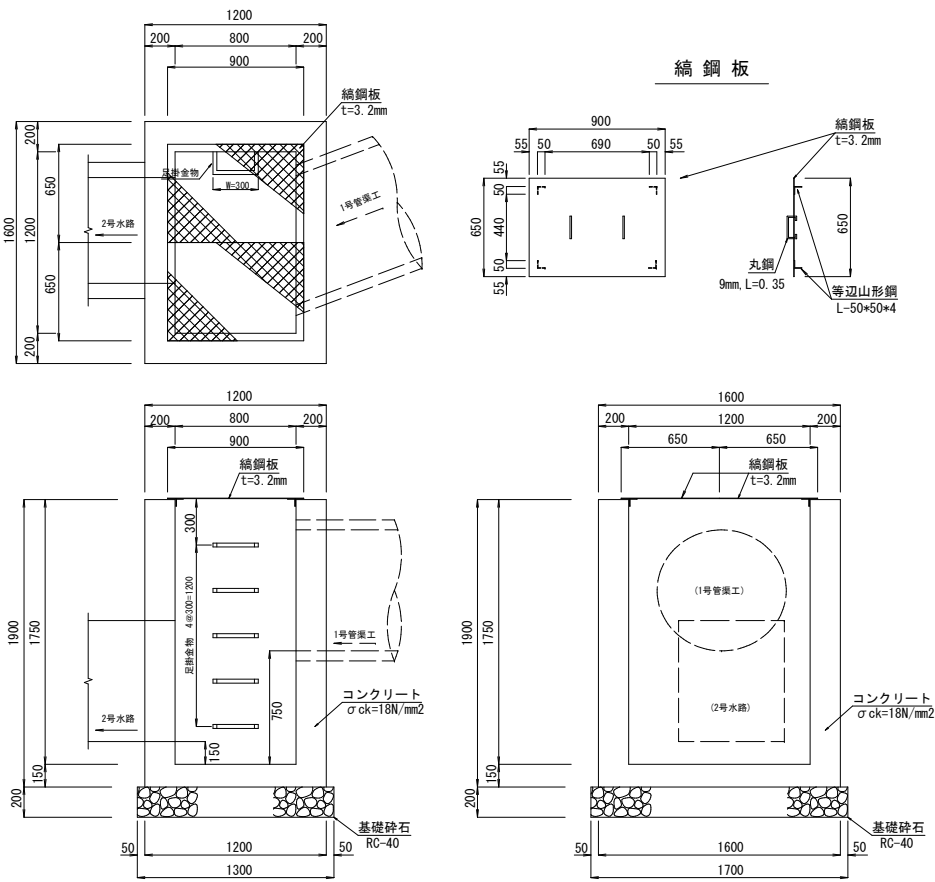
S=1:10



図面番号	縮 尺		図 示	
工 種	農 業 用 施 設 整 備 事 業			
種 別	構 造 図		第	2 / 3
路線 河川名	谷 政 水 路			
工事箇所	東広島市志和町志和堀			
東 広 島 市				

4号集水桝

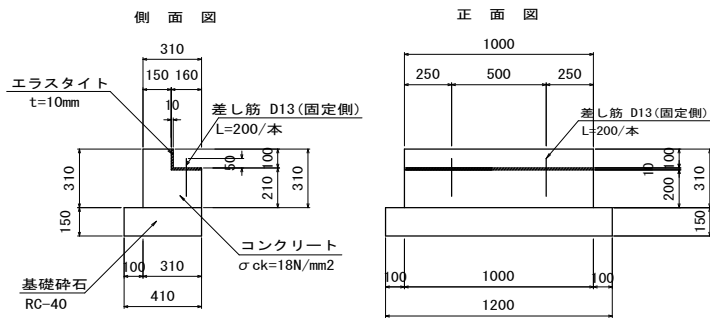
S=1:25



材料表				1ヶ所当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量		
コンクリート	σ ck=18N/mm2	m3	1.76		
型 枠	小型Ⅱ	m2	17.22		
基礎砕石	RC-40, t=200	m2	2.21		
鉄鋼板	t=3.2mm	Kg	31.00		
等辺山形鋼	L-50*50*4	Kg	1.22		
丸 鋼	9mm	Kg	0.70		
足掛金物	W=300	本	5.0		

受 台 標 準 図

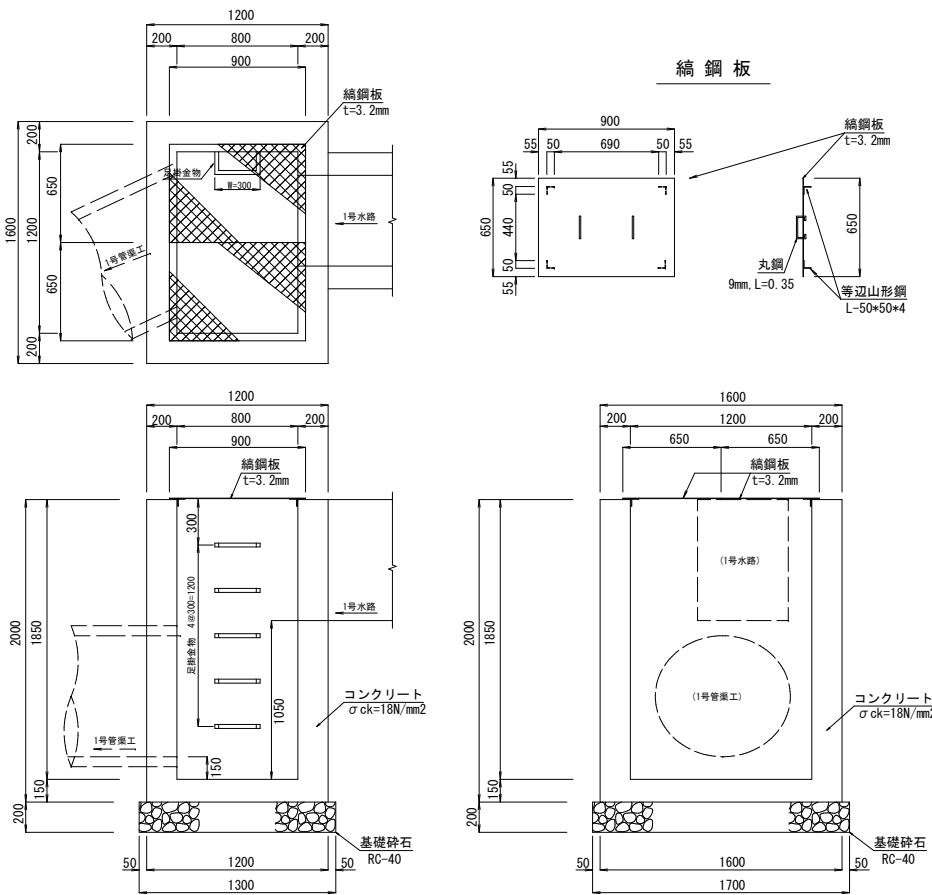
S=1:20



材料表					1箇所当り	
名 称	規 格	単位	数 量			
コンクリート	σ ck=18N/mm2	m3	0.079			
型枠		m2	0.51			
基礎砕石	RC - 40	m2	0.49			
差筋(固定側)	D13	Kg	0.40			
エラストイト	t=10mm	m2	0.25			

5号集水桝

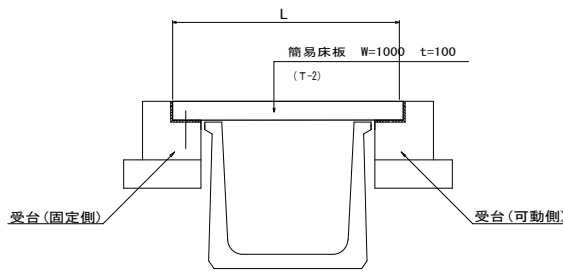
S=1:25



材料表					1ヶ所当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量			
コンクリート	σ ck=18N/mm2	m3	1.87			
型 枠	小型Ⅱ	m2	18.30			
基礎砕石	RC-40, t=200	m2	2.21			
鉄鋼板	t=3.2mm	Kg	31.00			
等辺山形鋼	L-50*50*4	Kg	1.22			
丸 鋼	9mm	Kg	0.70			
足掛金物	W=300	本	5.0			

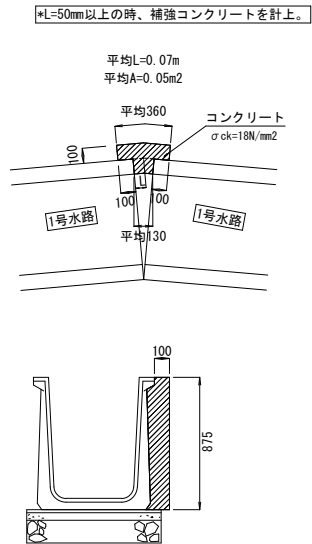
簡易床板工

S=1:20



1号補強コンクリート工

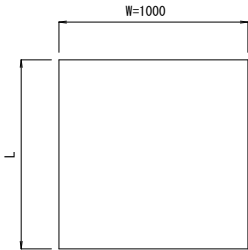
S=1:25



材料表					1ヶ所当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量			
コンクリート	σ ck=18N/mm2	m3	0.04			
型 枠	無筋	m2	0.49			

簡易床版

S=1:20

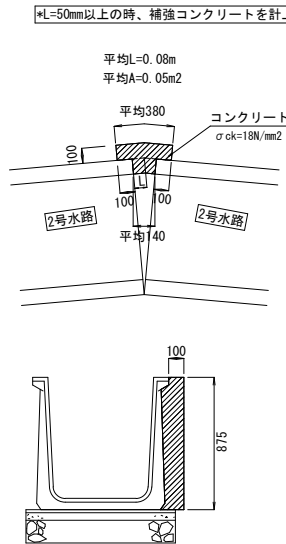


使用床版一覧表

種別	厚みt (mm)	製品長L (m)	参考重量 (kg)
T-2	100	1.3	312

2号補強コンクリート工

S=1:25



材料表					1ヶ所当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量			
コンクリート	σ ck=18N/mm2	m3	0.04			
型 枠	無筋	m2	0.51			

図面番号	縮 尺	図 示
工 種	農 業 用 施 設 整 備 事 業	
種 別	構 造 図	縮 3/3
路線名	谷 政 水 路	
工事箇所	東広島市志和町志和堀	
東 広 島 市		

参 考 図 書

工事名称 ： 令和８年度 農業用施設整備事業
谷政水路改良工事

＜注意事項＞

１ 本工事は、数量公開の対象工事です。

２ この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。

数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束を
するものではありません。

３ その他

当該工事により発生する建設副産物は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に
搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

工事箇所	種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
谷政水路	Co 殻（有筋）	（株）スナダ	東広島市志和町七条柗坂 10488-160	6.3km

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 44 東広島市 00-08.06.01(0)	
諸経費体系	9 公共(011015 ~)	
	当世代	前世代
諸経費工種 工事費端数区分 週休補正区分 施工地域・工事場所区分 契約保証費区分 前払支出割合区分 軽油区分 復興補正区分 I C T補正区分	06 水路工事 01 千円未満切捨 09 閉所型・月単位 05 中山間地域 01 金銭的保証(0.04%) 00 補正なし 00 一般軽油使用 00 補正なし 00 補正なし	

本工事費

内訳表

	費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費											
水路工事										レベル 1	
		1			式						
土工										レベル 2	
		1			式						
掘削工										レベル 3	
		1			式						
掘削										レベル 4	
		17			m3						
	掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準									00	
		17			m3					単第 0 -0001号表	
盛土工										レベル 3	
		1			式						
盛土										レベル 4	
		99			m3						
	盛土・埋戻(人力土工) 砂・砂質土									00	
		99			m3					単第 0 -0002号表	

本工事費

内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
補足土 ほぐし土量 カワモトリサイクルセンター	3	m3				00
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離7.5km以下(6.0km超)	3	m3				00 単第 0 -0003号表
作業土工	1	式				レベル 3
床堀	310	m3				レベル 4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	310	m3				00 単第 0 -0004号表
埋戻し	200	m3				レベル 4
機械併用埋戻(小規模土工)	200	m3				00 単第 0 -0005号表
整形仕上げ工	1	式				レベル 3
法面整形(切土部)	14	m2				レベル 4

本工事費

内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
法面整形 切土部 現場制約無し レキ質土,砂及び砂質土,粘性土	14	m2							00	単第 0 -0008号表
法面整形（盛土部）	29	m2								レベル 4
法面整形 盛土部 法面締固め無し 現場制約無し レキ質土,砂及び砂質土,粘性土	29	m2							00	単第 0 -0009号表
法面保護工	1	式								レベル 3
植生シート	42	m2								レベル 4
植生シート工 肥料袋無 標準品 [規]250m2未満	42	m2							00	単第 0 -0010号表
水路工	1	式								レベル 2
水路工	1	式								レベル 3
1号水路 B600-H800 L=2000	8.5	m								レベル 4

本工事費

内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
1号水路 600×800 L=2000									00	
	8.5		m						単第 0 -0011号表	
2号水路 B700-H800 L=2000									レベル4	
	83.7		m							
2号水路 700×800 L=2000									00	
	83.7		m						単第 0 -0015号表	
2号水路 B700-H800 L=1000									レベル4	
	1		m							
2号水路 700×800 L=1000									00	
	1		m						単第 0 -0017号表	
1号落差工 B700×H800 L=1500									レベル4	
	2		箇所							
1号落差工 600×800 L=1500									00	
	2		箇所						単第 0 -0019号表	
2号落差工 B700×H800 L=1500									レベル4	
	33		箇所							
2号落差工 700×800 L=1500									00	
	33		箇所						単第 0 -0021号表	

本工事費

内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
1号分水工 B700-H800	1		箇所			レベル4
1号分水工	1		箇所			00
2号分水工 B700-H800	5		箇所			単第 0 -0022号表 レベル4
2号分水工	5		箇所			00
1号管渠工 HP φ 800 90 ° 基礎	15.3	m				単第 0 -0029号表 レベル4
1号管渠工 HP φ 800 90 ° 基礎	15.3	m				00
4号集水桝	1		箇所			単第 0 -0030号表 レベル4
4号集水桝工	1		箇所			00
5号集水桝	1		箇所			単第 0 -0034号表 レベル4

本工事費

内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5号集水桝工					00
	1	箇所			単第 0 -0037号表
分水工					レベル 4
VU管 φ100	20.8	m			
硬質ポリ塩化ビニル管人力布設 直管（両差し口）V U 薄肉管 1 0 0 mm	20.8	m			00
					単第 0 -0038号表
接着受口30°曲管(ST) 取付管用継手,呼び径100	3	個			00
接着受口45°曲管(ST) 取付管用継手,呼び径100	1	個			00
接着受口60°曲管(ST) 取付管用継手,呼び径100	5	個			00
接着受口90°曲管(ST) 取付管用継手,呼び径100	1	個			00
VU管 φ50	1.0	m			レベル 4
硬質ポリ塩化ビニル管人力布設 直管（両差し口）V U 薄肉管 5 0 mm	1.0	m			00
					単第 0 -0039号表

本工事費

内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
VU管 φ 100		0.6	m						レベル 4	
硬質ポリ塩化ビニル管人力布設 直管（両差し口）V U 薄肉管 1 0 0 mm		0.6	m						00	
VU管 φ 150		4.6	m						単第 0 -0038号表 レベル 4	
硬質ポリ塩化ビニル管人力布設 直管（両差し口）V U 薄肉管 1 5 0 mm		4.6	m						00	
田面排水ボックス		2	箇所						単第 0 -0040号表 レベル 4	
プレキャスト集水桝 据付 基礎砕石有り 製品質量(kg/基)50kg以上80kg以下		2	基						00	
排水ボックス（止水板含まない） 4 0 0 × 6 0 0 × 2 5 0		2	個						単第 0 -0041号表 00	
止水板（排水ボックス用） 1 5 0 × 3 3 0 × 2 5		6	枚						00	
角フリューム KF300		1.1	m						レベル 4	

本工事費

内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
角フリューム布設 KF - 3 0 0 接合なし		1.1		m					00	
簡易床版 T-2(t=0.1,W=1.0) L=1.3		4		箇所					単第 0 -0042号表 レベル 4	
簡易床版 T-2(t=0.1,W=1.0) L=1.3		4		枚					00	
プレキャスト集水桝 据付 基礎砕石無し 製品質量(kg/基)200kgを超え400kg以下		4		基					00	
受台 固定側		4		箇所					単第 0 -0043号表 レベル 4	
受台 固定側		4		箇所					00	
受台 可動側		4		箇所					単第 0 -0044号表 レベル 4	
受台 可動側		4		箇所					00	
1号補強コンクリート		4		箇所					単第 0 -0046号表 レベル 4	
		4		箇所						

本工事費

内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
1号補強コンクリート						00
	4		箇所			単第 0 -0047号表
2号補強コンクリート						レベル 4
	16		箇所			
2号補強コンクリート						00
	16		箇所			単第 0 -0048号表
構造物撤去工						レベル 2
	1		式			
構造物取壊し工						レベル 3
	1		式			
コンクリート構造物取壊し						レベル 4
	2		m3			
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工						00
	2		m3			単第 0 -0049号表
殻運搬・処理						レベル 4
	2		m3			
殻運搬 吹付法面とりこわし(モルタル) DID区間無し 運搬距離7.0km以下(6.0km超)						00
	2		m3			単第 0 -0050号表

本工事費

内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など 処分費対象額調整（直接工事費計上分） 「処分費等」の取扱いによる	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
受入費 コンクリート殻(無筋) (株)スナダ	6	t				00
仮設工	1	式				レベル 2
仮設工	1	式				レベル 3
仮設道路工 盛土	170	m				レベル 4
路体(築堤)盛土・埋戻 施工幅員2.5m以上4.0m未満	170	m3				00 単第 0 -0051号表
補足土 ほぐし土量 カワモトリサイクルセンター	220	m3				00
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離7.5km以下(6.0km超)	170	m3				00 単第 0 -0003号表
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	170	m3				00 単第 0 -0001号表

本工事費

内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離7.5km以下(6.0km超)	170	m3				00 単第 0 -0003号表
処分費対象額調整(直接工事費計上分) 「処分費等」の取扱いによる						
受入費 建設発生土 カワモトリサイクルセンター	170	m3				00
水替え工	1	箇所				レベル 4
ポンプ運転	27	日				00 単第 0 -0052号表
水替工(小口径)ポンプ設置・撤去工 口径50mm_排水量0m3/h以上7m3/h未満	1	箇所				00 単第 0 -0054号表
直接工事費						
共通仮設費率 分額						
共通仮設費計						

本工事費

内訳表

頁0 -0013

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
純工事費						
現場管理費						
工事原価						
一般管理費率分						
契約保証費						
一般管理費計						
＊ ＊ 工事価格計 ＊ ＊						
＊ ＊ 消費税相当額計 ＊ ＊						
＊ ＊ 請負工事費計 ＊ ＊						

施工単価表

掘削
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 26.01% 労務構成比: 62.89% 標準
SPK25040001
材料構成比: 11.10% 市場単価構成比: 0.00% 単第 0 -0001号表
1
標準単価: 1,241.0000 m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	26.01%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	62.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	11.10%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=7 標準			B=5 上記以外(小規模)		

盛土・埋戻（人力土工）
砂・砂質土

頁0 -0015

10

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0016

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 26.52% 労務構成比: 61.90% 材料構成比: 11.58% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040002
DID区間無し 距離7.5km以下(6.0km超)

単第 0 -0003号表
1
標準単価: 2,287.8000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=33 距離7.5km以下(6.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

床掘り
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 18.73% 労務構成比: 74.16% 材料構成比: 7.11% 市場単価構成比: 0.00% 単第 0 -0004号表

1
標準単価: m3 2,247.4000 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	18.73%		バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	40.26%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.90%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.11%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

单第 0 -0005号表

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

機械投入(バックホウ)
土砂
機械構成比: 26.01% 労務構成比: 62.89% 材料構成比: 11.10% 市場単価構成比: 0.00%
SPK25040007 小規模(標準)
単第 0 -0006号表 1 m3 当り
標準単価: 1,093.9000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	26.01%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	62.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	11.10%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=4 小規模(標準)		

单第 0 -0007号表

頁0 -0020

10

m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0021

法面整形
切土部 現場制約無し
機械構成比: 9.24% 労務構成比: 81.28% 材料構成比: 9.48% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 918.9700

SPK25040025
レキ質土,砂及び砂質土,粘性土

単第 0 -0008号表
1 m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックハウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	9.24%		バックハウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	38.72%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	22.32%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	20.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.48%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 切土部 D=2 レキ質土,砂及び砂質土,粘性土			C=2 現場制約無し E=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0022

法面整形

盛土部 法面締固め無し 現場制約無し

機械構成比: 11.87%

SPK25040025

レキ質土,砂及び砂質土,粘性土

労務構成比: 75.95%

材料構成比: 12.18%

市場単価構成比: 0.00%

単第 0 -0009号表

1

m2

当り

標準単価: 453.5800

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	11.87%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	33.62%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	28.67%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	13.66%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.18%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 盛土部 C=2 現場制約無し E=1 -(全ての費用)			B=2 法面締固め無し D=2 レキ質土,砂及び砂質土,粘性土		

施工単価表

頁0 -0023

植生シート工
肥料袋無 標準品

[規]250m²未満

单第 0 -0010号表

1

m2

当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0024

1号水路
600 × 800 L=2000

单第 0 -0011号表

10 m 当り

[illegible]

施 工 単 価 表

頁0 -0025

U型側溝

単第 0 -0012号表

U型側溝(各種) L=2000mm/本

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_U型側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 時間的制約なし	1.000	m			
大型フリューム B600×H800 L=2000	0.500	本			
再生クラッシャー 40～0mm	0.156	m3			
諸雑費	1	式			
＊ ＊ 単位当り ＊ ＊	1	m			
A=1 昼間施工 D=100 【F】U型側溝(本) F=6 1000 重量			B=5 U型側溝(各種) E=3 L=2000mm/本 G=1 時間的制約なし		
I=1 - K=2 RC-40			J=1 - N=1.3 基礎碎石の設計数量(m3/10m)		

施工単価表

頁0 -0026

均しコンクリート

SPK25040157

単第 0 -0013号表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 28.68% 材料構成比: 71.32% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 30,615.0000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
普通作業員		12.85%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員		7.30%		特殊作業員			RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役		6.58%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)		71.32%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%			TTPCD0010 TTPT00343
積算単価				積算単価			E9999
A=1 C=2 H=2 K=1	無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 現場内小運搬無し -(全ての費用)			B=3 F=2 J=2	人力打設 一般養生 小型車割増有		

施工単価表

均し型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK25040159
均しコンクリート
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第 0 -0014号表

1
標準単価:

m2 当り
5,104.7000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	58.78%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	19.90%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	6.07%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=5 均しコンクリート		

施工単価表

頁0 -0028

2号水路
700 × 800 L=2000

单第 0 -0015号表

10 m 当り

[illegible]

施 工 単 価 表

頁0 -0029

U型側溝

単第 0 -0016号表

U型側溝(各種) L=2000mm/本

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_U型側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 時間的制約なし	1.000	m			
大型フリューム B700×H800 L=2000	0.500	本			
再生クラッシャラン 40～0mm	0.180	m3			
諸雑費	1	式			
* * 単位当り * *	1	m			
A=1 昼間施工 D=2600 【F】U型側溝(本) F=6 1000 重量			B=5 U型側溝(各種) E=3 L=2000mm/本 G=1 時間的制約なし		
I=1 - K=2 RC-40			J=1 - N=1.5 基礎碎石の設計数量(m3/10m)		

施工単価表

頁0 -0030

2号水路
700 × 800 L=1000

单第 0 -0017号表

10 m 当り

[illegible]

施 工 単 価 表

単第 0 -0018号表

頁0 -0031

U型側溝

U型側溝(各種) L=1000mm/本

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_U型側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 時間的制約なし	1.000	m			
大型フリューム B700×H800 L=1000	1.000	本			
再生クラッシャー 40～0mm	0.180	m3			
諸雑費	1	式			
* * 単位当り * *	1	m			
A=1 昼間施工 D=2900 【F】U型側溝(本) F=3 500 重量			B=5 U型側溝(各種) E=2 L=1000mm/本 G=1 時間的制約なし		
I=1 - K=2 RC-40			J=1 - N=1.5 基礎碎石の設計数量(m3/10m)		

施工単価表

頁0 -0032

1号落差工

600 × 800 L=1500

单第 0 -0019号表

1 箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0033

コンクリート分水槽据付

SPKN2504065

単第 0 -0020号表

据付 基礎碎石有り

製品質量800kgを超え1200kg以下

1

基 当り

機械構成比: 7.98%

労務構成比:

89.85%

材料構成比:

2.17%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

11,817.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	6.44%		バックホウ クローラ型 クレーン機能付1.7t 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00019 KTPT00019
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	30.13%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	24.45%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	13.11%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	4.78%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.75%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0034

コンクリート分水槽据付

SPKN2504065

单第 0 -0020号表

据付 基礎碎石有り

製品質量800kgを超え1200kg以下

1

基 当り

機械構成比: 7.98%

勞務構成比：

89.85%

材料構成比: 2.17%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

11,817.0000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0035

2号落差工

700 × 800 L=1500

单第 0 -0021号表

1 箇所 当り

[illegible]

施工単価表

单第 0 -0022号表

1 箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0037

コンクリート

SPK25040157

単第 0 -0023号表

小型構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

41.15%

材料構成比:

58.85%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

36,756.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	22.25%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.19%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.69%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	58.85%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=2 小型車割増有		

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比：0.00%

SPK25040159
小型構造物
労務構成比：100.00%

材料構成比：0.00%

市場単価構成比：0.00%

単第 0 -0024号表

1
標準単価：9,147.6000

m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.28%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.86%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

頁0 -0039

鉄筋工

SD345 D13

一般構造物 [規]10t未満

单第 0 -0025号表

1 t 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0040

基礎コンクリート

SPK25040157

単第 0 -0026号表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 28.68% 材料構成比: 71.32% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 30,615.0000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
普通作業員		12.85%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員		7.30%		特殊作業員			RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役		6.58%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)		71.32%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%			TTPCD0010 TTPT00343
積算単価				積算単価			E9999
A=1	無筋・鉄筋構造物			B=3	人力打設		
C=2	18-8-40BB			F=2	一般養生		
H=2	現場内小運搬無し			J=2	小型車割増有		
K=1	-(全ての費用)						

施工単価表

基礎型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK25040159
鉄筋・無筋構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第 0 -0027号表

1
標準単価:

m2 当り
10,100.0000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
型わく工		46.66%		型わく工			RTPC00010 RTPT00010
普通作業員		25.14%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役		9.51%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009
積算単価				積算単価			EP001
A=1 C=1	一般型枠 -(全ての費用)			B=1	鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

頁0 -0042

基礎碎石

SPK25040034

単第 0 -0028号表

碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.04% 労務構成比:

74.10%

材料構成比: 20.86%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,335.6000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックハウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	5.01%		バックハウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	35.62%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.04%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	13.95%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.98%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	16.17%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.66%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0043

基礎碎石

SPK25040034

单第 0 -0028号表

碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下

RC-40

機械構成比: 5.04% 労務構成比: 74.10%

材料構成比: 20.86%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：
1

m2 当り
1,335.6000

[illegible]

[illegible]

施工単価表

頁0 -0045

1号管渠工

HP ϕ 800

90。基礎

单第 0 -0030号表

10

m

当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0046

遠心力鉄筋コンクリート管(B形管)

SPKN2504076

単第 0 -0031号表

据付 管径800mm

外圧管1種

1 m 当り

機械構成比: 1.69%

労務構成比: 21.72%

材料構成比: 76.59%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

41,698.0000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックハウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t 排2,3,2011,2014	1.44%		バックハウ(クローラ型)(後方超小旋回型) クレーン機能付 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t		KTPC00067 KTPT00067
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	8.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	4.15%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	3.71%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	2.03%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
遠心力鉄筋コンクリート管(JISA5372) 外圧管,B形1種,呼び径800,長さ2,430 参考質量1170kg	75.47%		ヒューム管 外圧管 B形1種 径800mm×長さ2,430mm		TTPC00116 TTPT00116
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.95%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0047

遠心力鉄筋コンクリート管(B形管)

SPKN2504076

单第 0 -0031号表

据付 管径800mm

外圧管1種

機械構成比: 1.69% 労務構成比:

21.72%

材料構成比: 76.59%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：
1

m 当り
41,698.0000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0048

コンクリート

SPK25040157

単第 0 -0032号表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.50%

労務構成比:

34.96%

材料構成比: 61.54%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

36,531.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.31%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.07%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.38%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.04%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.40%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	59.80%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.65%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0049

コンクリート

SPK25040157

单第 0 -0032号表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.50%

勞務構成比：

34.96%

材料構成比: 61.54%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

36,531.0000

[illegible]

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK25040159
鉄筋・無筋構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第 0 -0033号表

1
標準単価:

m2 当り
10,100.0000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
型わく工		46.66%		型わく工			RTPC00010 RTPT00010
普通作業員		25.14%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役		9.51%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009
積算単価				積算単価			EP001
A=1 C=1	一般型枠 -(全ての費用)			B=1	鉄筋・無筋構造物		

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	1.8	m3			単第 0-0032号表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	17.2	m2			単第 0-0033号表
基礎碎石 碎石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 RC-40	2.2	m2			単第 0-0035号表
蓋版 材料別途 40 重量	2	枚			単第 0-0036号表
縞鋼板 t=3.2mm	31	kg			
等辺山形鋼 L-50×50×4	1.2	kg			
丸鋼 φ9mm	0.7	kg			
足掛け金物	5	本			
* * 単位当り * *	1	箇所			

施工単価表

頁0 -0052

基礎碎石

SPK25040034

単第 0 -0035号表

碎石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 4.78% 労務構成比:

70.31%

材料構成比: 24.91%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,407.6000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックハウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	4.75%		バックハウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	33.80%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	14.27%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	13.24%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.52%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	20.46%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.42%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0053

基礎碎石

SPK25040034

单第 0 -0035号表

碎石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下

RC-40

機械構成比: 4.78% 労務構成比: 70.31%

材料構成比: 24.91%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価：

m2 当り
1,407.6000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0054

蓋版
材料別途 40 重量

单第 0 -0036号表

1 枚 当り

[illegible]

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	1.9	m3			単第 0-0032号表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	18.3	m2			単第 0-0033号表
基礎碎石 碎石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 RC-40	2.2	m2			単第 0-0035号表
蓋版 材料別途 40 重量	2	枚			単第 0-0036号表
縞鋼板 t=3.2mm	31	kg			
等辺山形鋼 L-50×50×4	1.2	kg			
丸鋼 φ9mm	0.7	kg			
足掛け金物	5	本			
* * 単位当り * *	1	箇所			

施 工 単 価 表

頁0 -0056

硬質ポリ塩化ビニル管人力布設
直管（両差し口）V U 薄肉管

1 0 0 mm

単第 0 -0038号表

10

m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質塩化ビニル管 薄肉管VU径100長4.0m	2.44	本			
土木一般世話役	0.08	人			
特殊作業員	0.12	人			
普通作業員	0.17	人			
諸雑費	2.00	%			
* * * 合 計 * * *	10	m			
* * 単位当り * *	1	m			
A=3 V U 薄肉管 C=1 直管（両差し口）			B=10 1 0 0 mm D=1 -		

施 工 単 価 表

頁0 -0057

硬質ポリ塩化ビニル管人力布設
直管（両差し口）V U 薄肉管

5 0 mm

単第 0 -0039号表

10

m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質塩化ビニル管 薄肉管VU径50長4.0m	2.44	本			
土木一般世話役	0.07	人			
特殊作業員	0.11	人			
普通作業員	0.15	人			
諸雑費	2.00	%			
* * * 合 計 * * *	10	m			
* * 単位当り * *	1	m			
A=3 V U 薄肉管 C=1 直管（両差し口）			B=7 5 0 mm D=1 -		

施 工 単 価 表

頁0 -0058

硬質ポリ塩化ビニル管人力布設
直管（両差し口）V U 薄肉管

1 5 0 mm

単第 0 -0040号表

10

m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質塩化ビニル管 薄肉管VU径150長4.0m	2.44	本			
土木一般世話役	0.09	人			
特殊作業員	0.13	人			
普通作業員	0.19	人			
諸雑費	2.00	%			
* * * 合 計 * * *	10	m			
* * 単位当り * *	1	m			
A=3 V U 薄肉管 C=1 直管（両差し口）			B=12 1 5 0 mm D=1 -		

施工単価表

頁0 -0059

プレキャスト集水桝

SPK25040096

単第 0 -0041号表

据付 基礎砕石有り

製品質量(kg/基)50kg以上80kg以下

1

基 当り

機械構成比: 17.28%

労務構成比:

78.02%

材料構成比:

4.70%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

3,821.2000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	13.94%		バックホウ クローラ型 クレーン機能付1.7t 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00019 KTPT00019
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	52.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	5.98%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	3.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	0.74%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.79%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0060

プレキャスト集水桝

SPK25040096

单第 0 -0041号表

据付 基礎碎石有り

製品質量(kg/基)50kg以上80kg以下

1

基 当り

機械構成比: 17.28%

勞務構成比：

78.02%

材料構成比: 4.70%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

3,821.2000

[illegible]

角フリューム布設
KF - 300

頁0 -0061

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0062

プレキャスト集水桝

SPK25040096

単第 0 -0043号表

据付 基礎砕石無し

製品質量(kg/基)200kgを超え400kg以下

1

基 当り

機械構成比: 12.15%

労務構成比:

84.55%

材料構成比:

3.30%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

5,305.8000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックハウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	11.47%		バックハウ クローラ型 クレーン機能付1.7t 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00019 KTPT00019
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	43.62%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	19.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.68%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	5.33%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.12%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0063

プレキャスト集水桝

SPK25040096

单第 0 -0043号表

据付 基礎碎石無し

製品質量(kg/基)200kgを超え400kg以下

1

基 当り

機械構成比: 12.15%

勞務構成比：

84.55%

材料構成比: 3.30%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

5,305.8000

[illegible]

受台
固定側

頁0 -0064

1 箇所 当り

[illegible]

施工単価表

目地板
1工事当り使用量30m2未満
機械構成比：0.00%

SPK25040118
瀝青繊維質目地板 t=10mm
労務構成比：64.40%

材料構成比：35.60%

市場単価構成比：0.00%

単第 0 -0045号表

1
標準単価：4,077.3000

m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	47.36%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	16.72%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
目地板 瀝青繊維質板 厚10mm	35.60%		瀝青繊維質目地板 厚さ10mm		TTPC00199 TTPT00199
積算単価			積算単価		EP001
A=1 1工事当り使用量30m2未満			B=1 瀝青繊維質目地板 t=10mm		

受台
可動側

頁0 -0066

1 箇所 当り

[illegible]

施工単価表

单第 0 -0047号表

1 箇所 当り

[illegible]

施工単価表

单第 0 -0048号表

1 箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0069

構造物とりこわし工(無筋構造物)

機械施工

单第 0 -0049号表

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

殻運搬
吹付法面とりこわし(モルタル)
機械構成比: 20.72% 労務構成比: 65.82% 材料構成比: 13.46% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040155
DID区間無し 運搬距離7.0km以下(6.0km超)

単第 0 -0050号表
1
標準単価: 2,008.4000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>ダンプトラック 積載質量4t	20.72%		ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4t積級		KTPC00055 KTPT00055
運転手(一般)	65.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	13.46%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=4 吹付法面とりこわし(モルタル) C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=32 運搬距離7.0km以下(6.0km超)		

施工単価表

頁0 -0071

路体(築堤)盛土・埋戻
施工幅員2.5m以上4.0m未満

SPKN2504004

単第 0 -0051号表

1
m3 当り
標準単価： 857.6000

機械構成比： 15.30% 労務構成比： 76.16% 材料構成比： 8.54% 市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックハウ(クローラ型) 山積0.28m3(平積0.2) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	8.01%		バックハウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00054 KTPT00054
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	7.29%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
運転手(特殊)	67.28%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	8.88%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.54%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 施工幅員2.5m以上4.0m未満					

施工単価表

单第 0 -0052号表

頁0 -0072

1 目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0073

機-16_発動発電機運転
ガソリン2kVA

单第 0 -0053号表

1 目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0074

水替工(小口径)ポンプ設置・撤去工
口径50mm 排水量0m³/h以上7m³/h未満

单第 0 -0054号表

1

箇所 当り

[illegible]

登録単価一覧表

頁0 -0075

コード	名称・規格1・規格2	単位	単 価 (00.04.08) (12.16)	単 価 (01.05.09) (13.17)	単 価 (02.06.10) (14.18)	単 価 (03.07.11) (15.19)	特殊集計 集計区分	
F000000700	簡易床版 T-2(t=0.1,W=1.0) L=1.3	枚						
F0000000100	大型フリューム B600×H800 L=2000	本						
F0000002600	大型フリューム B700×H800 L=2000	本						
F0000002900	大型フリューム B700×H800 L=1000	本						
F0000002800	落差工 B700×H800 L=1500	本						
F000000200	落差工 B600×H800 L=1500	本						
F000000500	縞鋼板 t=3.2mm	kg						

登録単価一覧表

頁0 -0076

コード	名称・規格1・規格2	単 位	単 価 (00.04.08) (12.16)	単 価 (01.05.09) (13.17)	単 価 (02.06.10) (14.18)	単 価 (03.07.11) (15.19)	特殊集計 集計区分	
F000000600	等辺山形鋼 L-50×50×4	kg						
F000001000	補足土 ほぐし土量 カワモトリサイクルセンター	m3						
F000001100	接着受口90°曲管(ST) 取付管用継手,呼び径100	個						
TK479	足掛け金物	本					1	
F0000000004	受入費 コンクリート殻(無筋) (株)スナダ	t						
F0000000002	受入費 建設発生土 カワモトリサイクルセンター	m3						
F000000100	丸鋼 φ9mm	kg						

谷政水路
数量計算書

設計数量総括内訳書

谷政水路

No.1

[illegible]

設計数量総括内訳書

谷政水路

No.2

[illegible]

土

工

土 量 配 分 表

切土

砂質土	17.1
-----	------

盛土

砂質土	99.0
-----	------

床堀

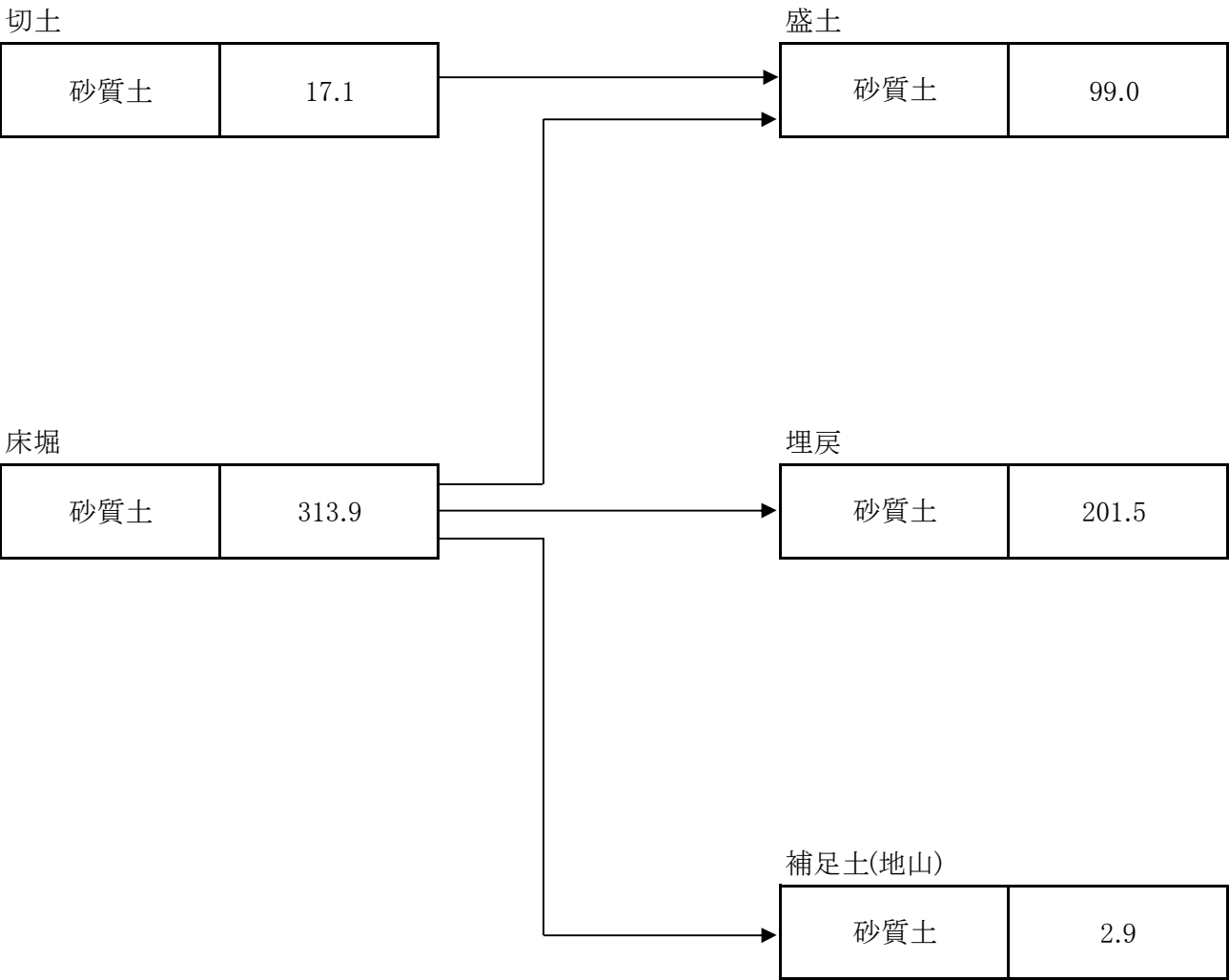
砂質土	313.9
-----	-------

埋戻

砂質土	201.5
-----	-------

補足土(地山)

砂質土	2.9
-----	-----



土工数量総括表

	切土	盛土	床堀	埋戻		基面整正	切土法面 整形工	盛土法面 整形工	摘 要
	C	B	E(SF)	Fu(C)	Fu(D)	K			
	機械	機械	機械	機械	機械	人力	機械	機械	
土工	17.1	99.0	214.4		118.9		13.7	28.5	
1号水路						18.4			
2号水路						83.7			
1号落差工						15.8			
2号落差工						52.8			
1号分水工						3.3			
2号分水工						6.0			
1号管渠工			99.5	82.6		18.4			
4号集水桝						2.2			
5号集水桝						2.2			
KF300						0.4			
合計	17.1	99.0	313.9	201.5		203.2	13.7	28.5	

計 第

2 表

土工 (切土・盛土)

計 算 書

測 点	距 離	切土(C)			盛土(B)					
		断面積	平 均	立 積	断面積	平 均	立 積		平 均	積
No.7		0.0			1.0					
IP.20	11.4	0.1	0.05	0.6	0.4	0.70	8.0			
No.8	8.6	0.0	0.05	0.4	0.5	0.45	3.9			
BC.22	7.8				0.4	0.45	3.5			
EC.22	6.4	0.0			0.1	0.25	1.6			
EC.23	5.5	0.4	0.20	1.1	0.2	0.15	0.8			
BC.24	8.7	0.2	0.30	2.6	0.7	0.45	3.9			
EC.24	5.3	0.1	0.15	0.8	0.6	0.65	3.4			
EC.25	6.1	0.1	0.10	0.6	1.4	1.00	6.1			
BC.26	5.4	0.2	0.15	0.8	0.2	0.80	4.3			
EC.26	5.2	0.0	0.10	0.5	0.3	0.25	1.3			
No.11	9.6				0.9	0.60	5.8			
IP.27	11.6				2.9	1.90	22.0			
		0.6			1.1					
IP.28	0.5	0.6	0.60	0.3	1.1	1.10	0.6			
	0.7	0.6	0.60	0.4	1.1	1.10	0.8			
		0.6			1.4					
BC.29	2.9	0.0	0.30	0.9	0.8	1.10	3.2			
EC.29	9.6				0.3	0.55	5.3			
小計	105.3			9.0			74.5			
合 計	154.7			17.1			99.0			

計 第 2 表 土工 (床堀・埋戻) 計 算 書										
測 点	距 離	床堀 (E(SF))			埋戻 (Fu(D))					
		断面積	平 均	立 積	断面積	平 均	立 積		平 均	積
		0.8			0.5					
EC.16	2.9	1.8	1.30	3.8	1.2	0.85	2.5			
No.6	13.4	1.3	1.55	20.8	0.7	0.95	12.7			
No.7	20.0	0.8	1.05	21.0	0.5	0.60	12.0			
IP.20	11.4	1.3	1.05	12.0	0.6	0.55	6.3			
No.8	8.6	1.3	1.30	11.2	0.5	0.55	4.7			
BC.22	7.8	1.4	1.35	10.5	0.6	0.55	4.3			
EC.22	6.4	1.6	1.50	9.6	0.9	0.75	4.8			
EC.23	5.5	1.6	1.60	8.8	0.8	0.85	4.7			
BC.24	8.7	2.2	1.90	16.5	1.3	1.05	9.1			
EC.24	5.3	1.0	1.60	8.5	0.5	0.90	4.8			
EC.25	6.1	0.7	0.85	5.2	0.5	0.50	3.1			
BC.26	5.4	1.7	1.20	6.5	1.0	0.75	4.1			
EC.26	5.2	2.0	1.85	9.6	1.2	1.10	5.7			
No.11	9.6	0.8	1.40	13.4	0.4	0.80	7.7			
IP.27	11.6	3.4	2.10	24.4	1.7	1.05	12.2			
		4.2			2.1					
IP.28	0.5	4.2	4.20	2.1	2.1	2.10	1.1			
	0.7	4.5	4.35	3.0	2.5	2.30	1.6			
		0.0			0.0					
BC.29	2.9	0.4	0.20	0.6	0.4	0.20	0.6			
EC.29	9.6	1.3	0.85	8.2	0.8	0.60	5.8			
小計	141.6			195.7			107.8			
合 計	154.7			214.4			118.9			

計 第	1	表	土工（盛土法面整形工）	計 算 書
-----	---	---	-------------	-------

測 点	距 離	盛土法面整形工(L2)								
		法 長	平 均	面 積		平 均	積		平 均	積
		0.0								
BC.15	0.8	1.1	0.55	0.4						
No.5	3.6	1.2	1.15	4.1						
	2.0	0.0	0.60	1.2						
小計	6.4			5.7						
		0.0								
	2.1	0.8	0.40	0.8						
EC.16	1.2	1.1	0.95	1.1						
	2.4	0.0	0.55	1.3						
小計	5.7			3.2						
		0.0								
IP.20	4.0	0.7	0.35	1.4						
	2.3	0.0	0.35	0.8						
小計	6.3			2.2						
		0.0								
EC.23	2.4	0.4	0.20	0.5						
	1.1	0.0	0.20	0.2						
小計	3.5			0.7						

工 護 保 面 法

法面保護工数量総括表

[illegible]

計 第 2 表

植生シート張

計 算 書

測 点	距 離	植生シート張(L2)								
		法 長	平 均	面 積		平 均	積		平 均	積
		0.0								
BC.15	0.8	1.1	0.55	0.4						
No.5	3.6	1.2	1.15	4.1						
	2.0	0.0	0.60	1.2						
小計	6.4			5.7						
		0.0								
	2.1	0.8	0.40	0.8						
EC.16	1.2	1.1	0.95	1.1						
	2.4	0.0	0.55	1.3						
小計	5.7			3.2						
		0.0								
IP.20	4.0	0.7	0.35	1.4						
	2.3	0.0	0.35	0.8						
小計	6.3			2.2						
		0.0								
EC.23	2.4	0.4	0.20	0.5						
	1.1	0.0	0.20	0.2						
小計	3.5			0.7						

水 路 工

水路工 - 1 延長調書

種 別	1号水路	2号水路		1号落差工	2号落差工	1号分水工	2号分水工
	B600-H800	B700-H800		B600-H800	B700-H800	B600-H800用	B700-H800用
	L=2.0	L=2.0	L=1.0	L=1.5	L=1.5	L=1.0	L=1.0
測 点							
BC.15		(2.0+2.3) 4.3			1.0		
No.5		(1.8+0.3) 2.1			1.0		
EC.15		(1.8+0.4) 2.2			1.0		
EC.16		1.7			1.0		
No.6		(2.0+2.0+2.0) 6.0			(2.0+1.0+1.0) 4.0		1.0
No.7		(8.0+4.0+5.0) 17.0			(1.0+1.0) 2.0		
IP.20		(1.1+4.1) 5.2	1.0		(2.0+2.0) 4.0		
No.8		(2.0+1.5) 3.5			2.0		1.0
BC.22		(2.6+1.2) 3.8			2.0		1.0
EC.22		3.0			2.0		1.0
EC.23		4.3			1.0		

水路工 - 2 延長調書

種 別	1号水路	2号水路		1号落差工	2号落差工	1号分水工	2号分水工
	B600-H800	B700-H800		B600-H800	B700-H800	B600-H800用	B700-H800用
	L=2.0	L=2.0	L=1.0	L=1.5	L=1.5	L=1.0	L=1.0
測 点							
BC.24		(2.0+2.0) 4.0			2.0		1.0
EC.24		(2.1+1.4) 3.5			1.0		
EC.25		(0.7+2.2+0.2) 3.1			(1.0+1.0) 2.0		
BC.26		5.4					
EC.26		(0.5+2.1) 2.6			2.0		
No.11		(2.0+2.0+2.0) 6.0			(1.0+1.0+1.0) 3.0		
IP.27		(2.0+2.0+2.0) 6.0			(1.0+1.0) 2.0		
No.12							
IP.28							
BC.29	0.4			1.0		1.0	
EC.29	(3.8+4.3) 8.1			1.0			
合計	8.5 m	83.7 m	1.0 m	2.0 本	33.0 本	1.0ヶ所	5.0ヶ所

水路工 - 3 延長調書

種 別	1号管渠工	2号管渠工	1号集水桝	2号集水桝	3号集水桝	4号集水桝	5号集水桝
	HP φ 800	HP φ 900					
	90° 基礎	90° 基礎					
測 点							
BC.24							
EC.24							
EC.25							
BC.26							
EC.26							
No.11							
IP.27						1.0	
No.12	8.5						
IP.28	6.8						1.0
BC.29							
EC.29							
合計	15.3 m					1.0ヶ所	1.0ヶ所

水 路 工 - 4 延 長 調 書

[illegible]

水路工 - 5 延長調書

種 別	分 水 工						
	VU管	継手管 φ 100用				角フリューム	接続桧
	φ 100	30° エルボ [※]	45° エルボ [※]	60° エルボ [※]	90° エルボ [※]	KF150	下水桧300用
測 点							
BC.24	5.0	1.0		1.0			
EC.24							
EC.25							
BC.26							
EC.26							
No.11	0.6						
IP.27							
No.12							
IP.28							
BC.29	1.1	1.0		1.0			
EC.29							
合計	20.8 m	3.0 個	1.0 個	5.0 個	1.0 個		

水 路 工 - 6 延 長 調 書

種 別	L型水路	VU管(直間継手含む)					
		φ 50	φ 60	φ 75	φ 100	φ 125	φ 150
測 点							
BC.15							
No.5							
EC.15							
EC.16							
No.6							
No.7							
IP.20		1.0					
No.8							
BC.22							
EC.22							2.7
EC.23							1.6

水路工 - 7 延長調書

種 別	L型水路	VU管(直間継手含む)					
		φ 50	φ 60	φ 75	φ 100	φ 125	φ 150
測 点							
BC.24							
EC.24							
EC.25							
BC.26							
EC.26							
No.11							
IP.27					0.6		
No.12							
IP.28							
BC.29							
EC.29							0.3
合計		1.0 m			0.6 m		4.6 m

水路工 - 8 延長調書

[illegible]

水路工 - 9 延長調書

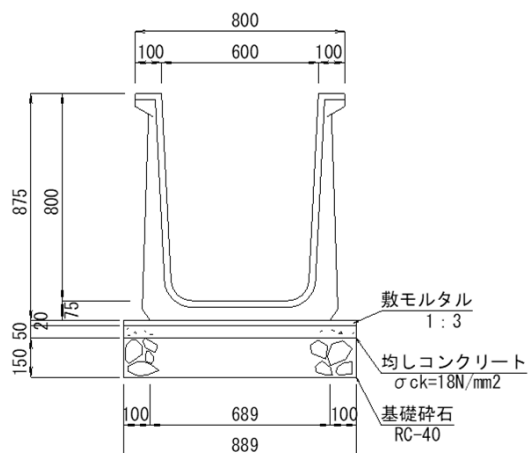
種 別	田面排水ボックス	KF300	簡易床版			受台	
	600型		T-2 (t=10cm) ,W=1.0m			固定側	可動側
				L=1.3			
測 点							
BC.24							
EC.24							
EC.25							
BC.26							
EC.26							
No.11							
IP.27							
No.12							
IP.28							
BC.29							
EC.29							
合計	2.0ヶ所	1.1 m		4.0 枚		4.0ヶ所	4.0ヶ所

水路工 - 10 延長調書

種 別	1号	2号					
	補強コンクリート	補強コンクリート					
	1号水路用	2号水路用					
測 点							
BC.15							
No.5		2.0					
EC.15		1.0					
EC.16		1.0					
No.6							
No.7		1.0					
IP.20		2.0					
No.8							
BC.22							
EC.22		3.0					
EC.23		2.0					

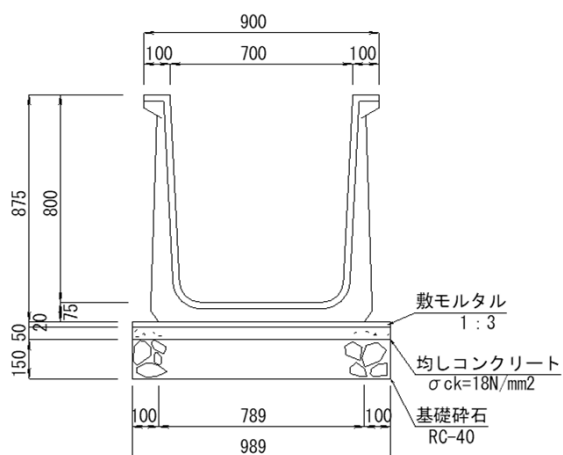
水路工 - 11 延長調書

種 別	1号	2号					
	補強コンクリート	補強コンクリート					
	1号水路用	2号水路用					
測 点							
BC.24							
EC.24		2.0					
EC.25		2.0					
BC.26							
EC.26							
No.11							
IP.27							
No.12							
IP.28							
BC.29	4.0						
EC.29							
合計	4.0ヶ所	16.0ヶ所					



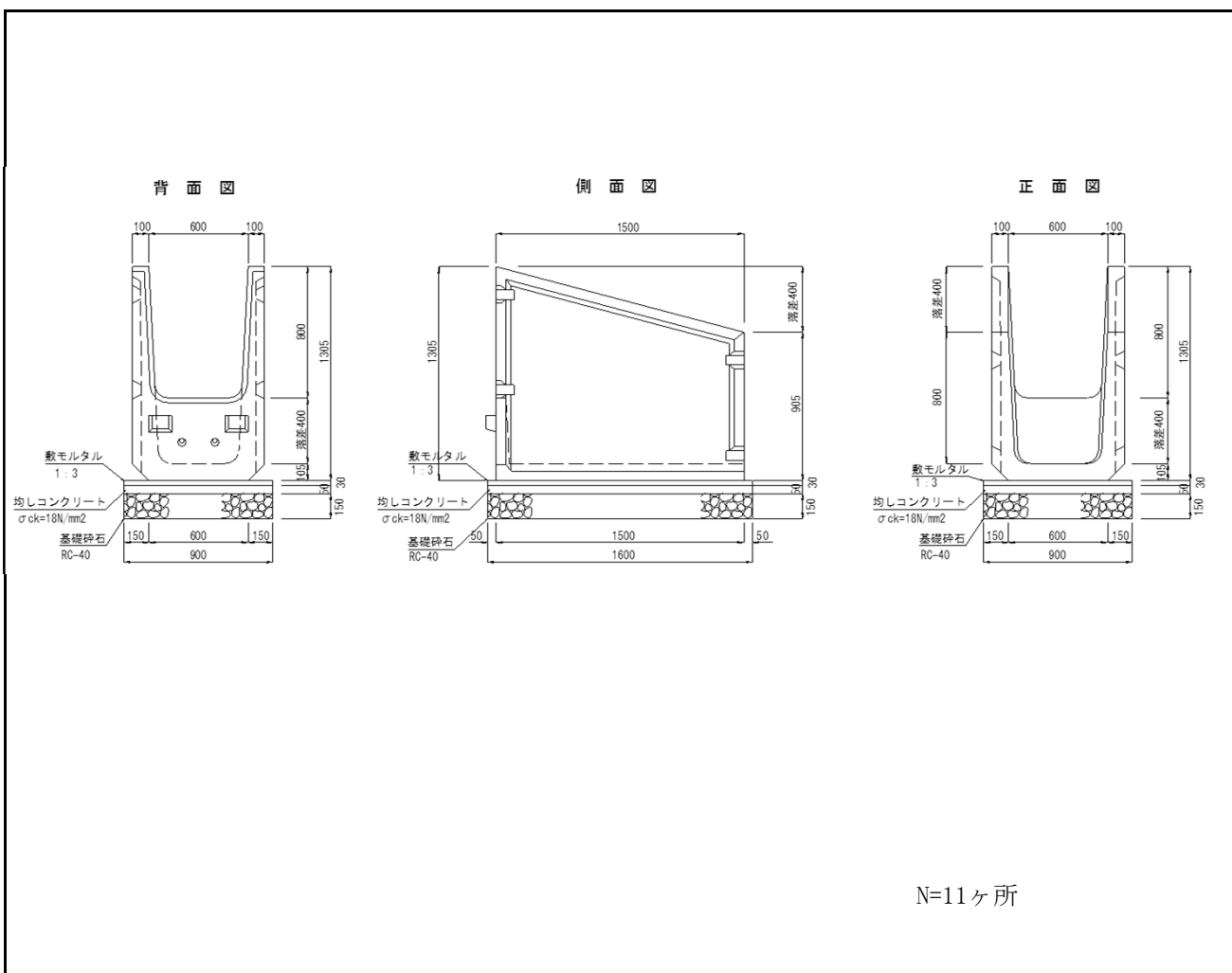
延長 L=34.2m

名 称	規 格	算 式	10m当り数量
大型フリーム	B600×H800	10.0/2.0	5.0 本
敷モルタル	1:3	$0.889 \times 0.02 \times 10.0$	0.178 m ³
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$0.889 \times 0.05 \times 10.0$	0.44 m ³
均し型枠		$0.05 \times 2 \times 10.0$	1.00 m ²
基礎砕石	RC-40, t=15cm	0.889×10.0	8.89 m ²
床掘		土工で計上	
埋戻し		〃	
基面整正	人力	0.9×34.2	30.8 m ²

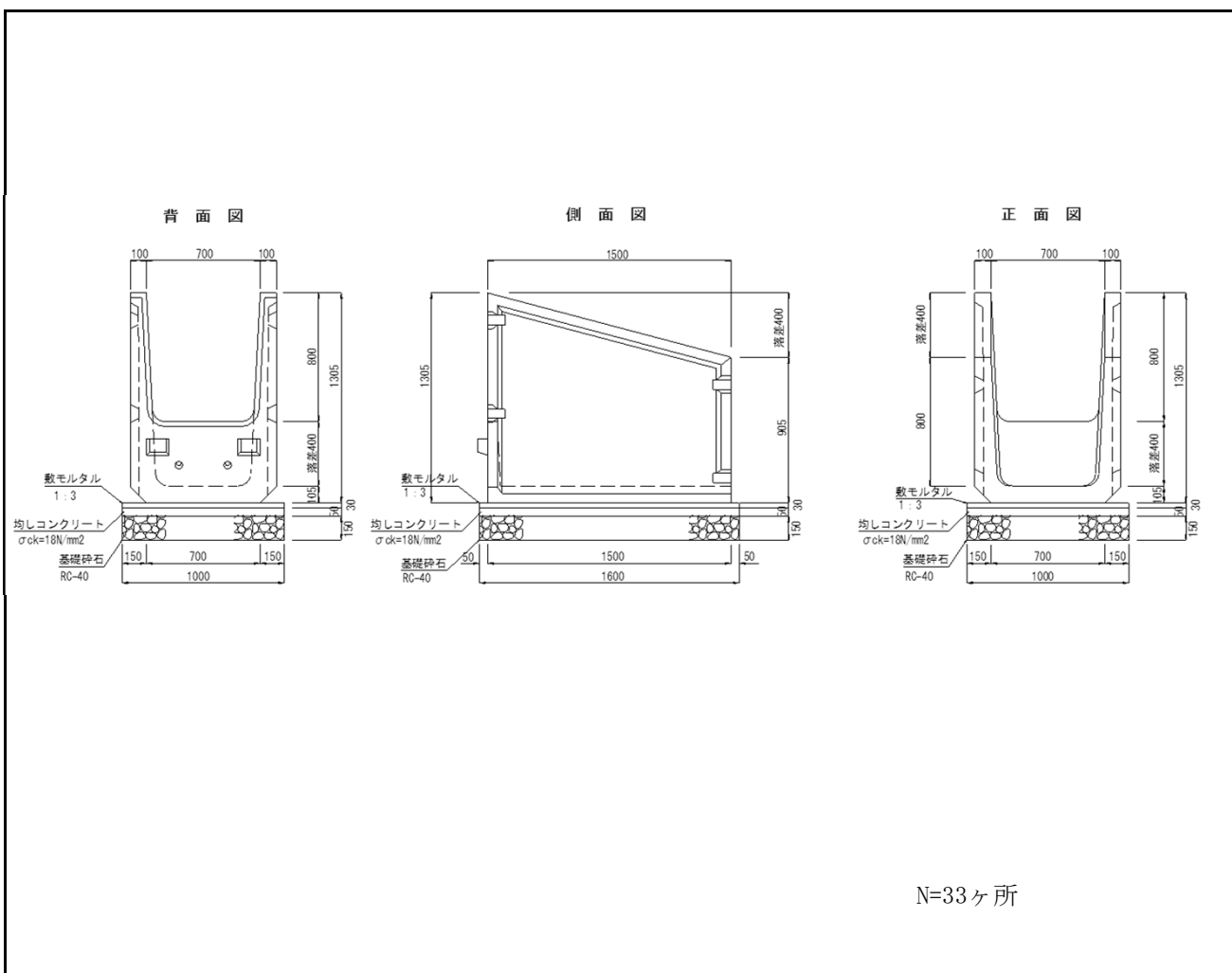


L=83.7m

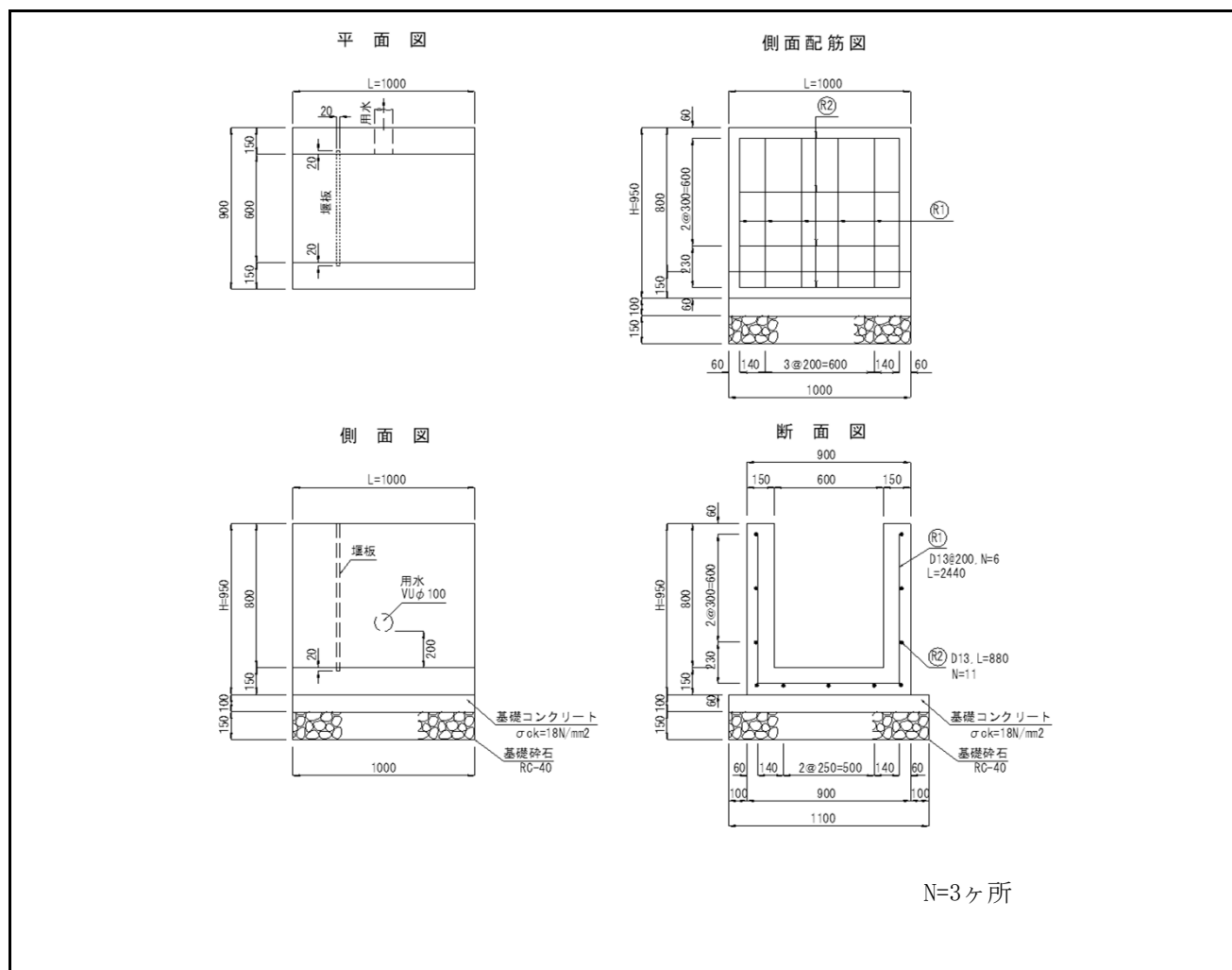
名 称	規 格	算 式	10m当り数量
大型フリーム	B700×H800	10.0/2.0	5.0 本
大型フリーム	B700×H800 1.0m用	10.0/1.0	10.0 本
敷モルタル	1:3	$0.989 \times 0.02 \times 10.0$	0.198 m ³
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$0.989 \times 0.05 \times 10.0$	0.49 m ³
均し型枠		$0.05 \times 2 \times 10.0$	1.00 m ²
基礎砕石	RC-40, t=15cm	0.989×10.0	9.89 m ²
床掘		土工で計上	
埋戻し		〃	
基面整正	人力	1.0×83.7	83.7 m ²



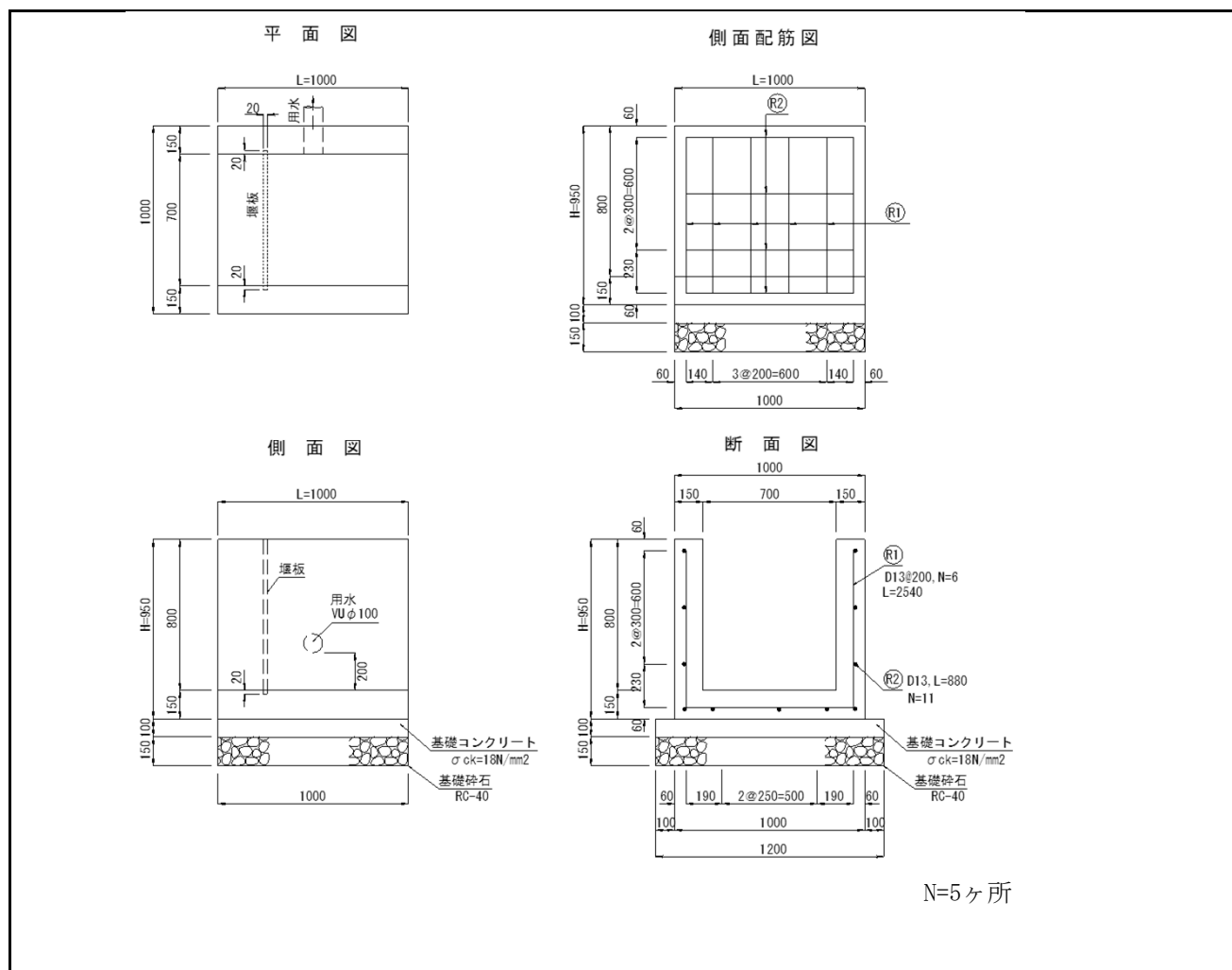
名 称	規 格	算 式	1箇所当り数量
落差工	B600×H800 L=1,500		1.0 本
敷モルタル	1:3	$1.60 \times 0.90 \times 0.03$	0.043 m ³
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$1.60 \times 0.90 \times 0.05$	0.07 m ³
均し型枠		$1.60 \times 0.05 \times 2$	0.16 m ²
基礎碎石	RC-40, t=15cm	1.60×0.90	1.44 m ²
床掘		土工で計上	
埋戻し		〃	
基面整正	人力	$1.60 \times 0.90 \times 11.0$	15.8 m ²



名 称	規 格	算 式	1箇所当り数量
落差工	B700×H800 L=1,500		1.0 本
敷モルタル	1:3	$1.60 \times 1.00 \times 0.03$	0.048 m ³
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$1.60 \times 1.00 \times 0.05$	0.08 m ³
均し型枠		$1.60 \times 0.05 \times 2$	0.16 m ²
基礎砕石	RC-40, t=15cm	1.60×1.00	1.60 m ²
床掘		土工で計上	
埋戻し		〃	
基面整正	人力	$1.6 \times 1.0 \times 33.0$	52.8 m ²

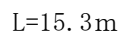


名 称	規 格	算 式	1箇所当り数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$(0.90 \times 0.95 - 0.60 \times 0.80) \times 1.0$	0.375 m ³
型枠	鉄筋	$(0.95 + 0.80) \times 2 \times 1.0$	3.50 m ³
鉄筋	D13, SD34.5	R1 $2.44 \times 6 = 14.64\text{m}$	
		R2 $0.88 \times 11 = 9.68\text{m}$	
		鉄筋量 = $(14.64 + 9.68) \times 0.995$	24.2 kg
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$1.10 \times 0.10 \times 1.0$	0.11 m ³
基礎型枠		$0.10 \times 2 \times 1.0$	0.20 m ²
基礎砕石	RC-40, t=15cm	1.10×1.0	1.10 m ²
床掘		土工で計上	
埋戻し		〃	
基面整正	人力	$(1.10 \times 1.0) \times 3$	3.3 m ²

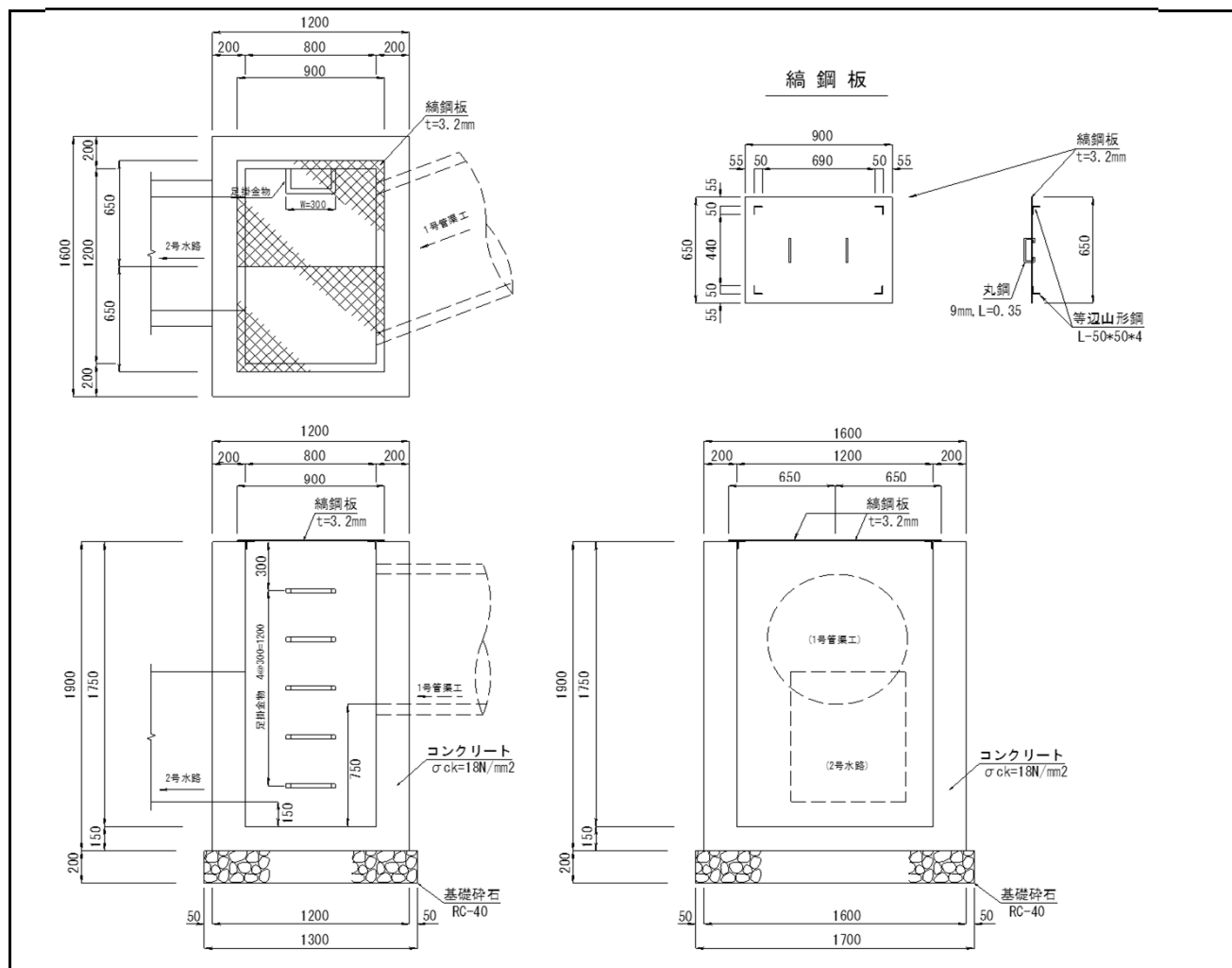


名 称	規 格	算 式	1箇所当り数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$(1.00 \times 0.95 - 0.70 \times 0.80) \times 1.0$	0.390 m ³
型枠	鉄筋	$(0.95 + 0.80) \times 2 \times 1.0$	3.50 m ³
鉄筋	D13, SD34.5	R1 $2.54 \times 6 = 15.24\text{m}$	
		R2 $0.88 \times 11 = 9.68\text{m}$	
		鉄筋量 = $(15.24 + 9.68) \times 0.995$	24.8 kg
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$1.20 \times 0.10 \times 1.0$	0.12 m ³
基礎型枠		$0.10 \times 2 \times 1.0$	0.20 m ²
基礎砕石	RC-40, t=15cm	1.20×1.0	1.20 m ²
床掘		土工で計上	
埋戻し		〃	
基面整正	人力	$(1.20 \times 1.0) \times 5$	6.0 m ²

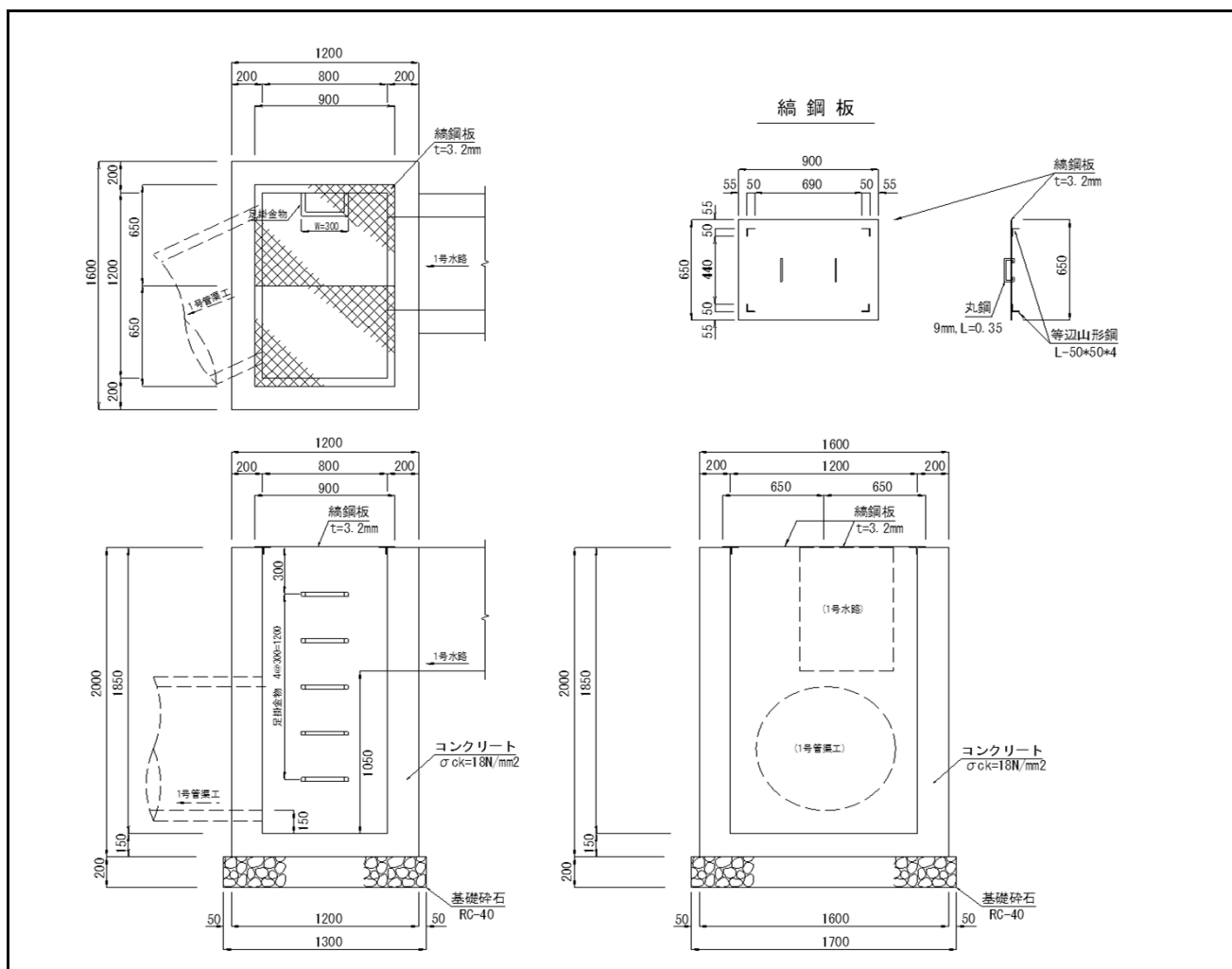
数量計算書



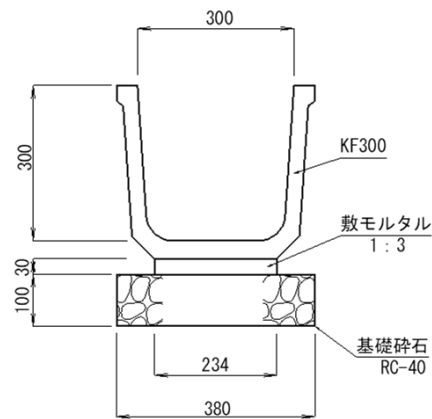
名 称	規 格	算 式	10m当り数量
ヒューム管	φ 800	「広島県制定土木構造物標準設計図集」より	4.1 本
コンクリート	σ ck=18N/mm2	〃	2.587 m3
型枠	小型 I	〃	6.80 m2
基礎碎石	RC-40, t=15cm	〃	11.50 m2
床掘	機械, 砂質土	6.5×15.3	99.5 m3
埋戻し	〃	5.4×15.3	82.6 m3
基面整正	人力	1.2×15.3	18.4 m2



名 称	規 格	算 式	1箇所当り数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$1.20 \times 1.60 \times 1.90 - (0.80 \times 1.20 \times 1.75 + 0.70 \times 0.80 \times 0.20 + 0.40 \times 0.40 \times 3.14 \times 0.20)$	1.756 m ³
型枠	小型Ⅱ	$(1.20 + 1.60 + 0.80 + 1.20) \times 2 \times 1.90 - 0.70 \times 0.80 \times 2 - 0.40 \times 0.40 \times 3.14 \times 2 + (0.70 + 0.80) \times 2 \times 0.20 + 0.80 \times 3.14 \times 0.20$	17.22 m ²
基礎碎石	RC-40, $t=20\text{cm}$	1.30×1.70	2.21 m ³
縞鋼板 (2枚)	$t=3.2\text{mm}$	$0.65 \times 0.90 \times 2 \times 26.50$	31.00 kg
等辺山形鋼	L-50×50×4	$0.05 \times 4 \times 2 \times 3.06$	1.22 kg
丸鋼	9mm	$0.35 \times 2 \times 2 \times 0.499$	0.70 kg
足掛金物	W=300		5.0 本
床掘		土工で計上	
埋戻し		〃	
基面整正	人力	1.3×1.7	2.2 m ²

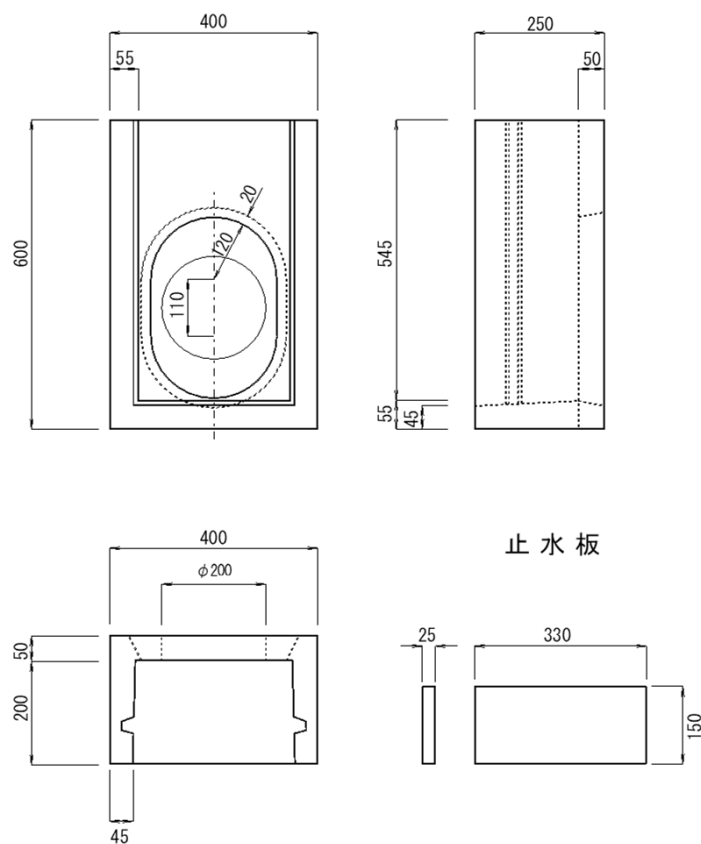


名 称	規 格	算 式	1箇所当り数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$1.20 \times 1.60 \times 2.00 - (0.80 \times 1.20 \times 1.85 + 0.60 \times 0.80 \times 0.20 + 0.40 \times 0.40 \times 3.14 \times 0.20)$	1.868 m ³
型枠	小型Ⅱ	$(1.20 + 1.60 + 0.80 + 1.20) \times 2 \times 2.00 - 0.60 \times 0.80 \times 2 - 0.40 \times 0.40 \times 3.14 \times 2 + (0.60 + 0.80) \times 2 \times 0.20 + 0.80 \times 3.14 \times 0.20$	18.30 m ²
基礎碎石	RC-40, t=20cm	1.30×1.70	2.21 m ³
鋼鋼板 (2枚)	t = 3.2mm	$0.65 \times 0.90 \times 2 \times 26.50$	31.00 kg
等辺山形鋼	L-50×50×4	$0.05 \times 4 \times 2 \times 3.06$	1.22 kg
丸鋼	9mm	$0.35 \times 2 \times 2 \times 0.499$	0.70 kg
足掛金物	W=300		5.0 本
床掘		土工で計上	
埋戻し		〃	
基面整正	人力	1.3×1.7	2.2 m ²

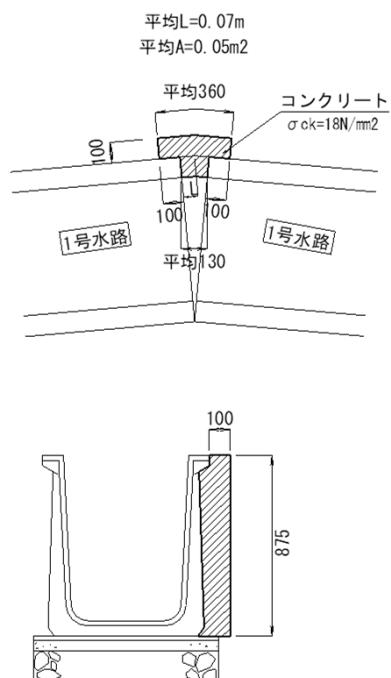


L=1.1m

名 称	規 格	算 式	10m当り数量
角フリューム	KF300	10.0/2.0	5.0 本
敷モルタル	1:3	$0.234 \times 0.03 \times 10.0$	0.070 m ³
基礎碎石	RC-40, t=10cm	0.38×10.0	3.80 m ²
床掘		土工で計上	
埋戻し		〃	
基面整正	人力	0.4×1.1	0.4 m ²

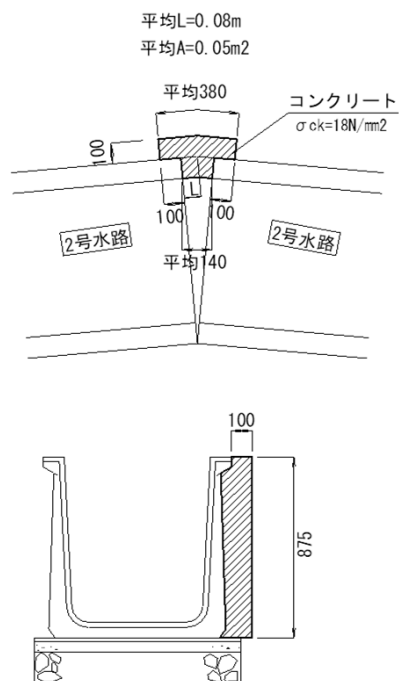


名 称	規 格	算 式	1箇所当り数量
田面排水ボックス	600型		1.0 組
床掘		計上なし	
埋戻し		〃	
基面整正		〃	



N=4ヶ所

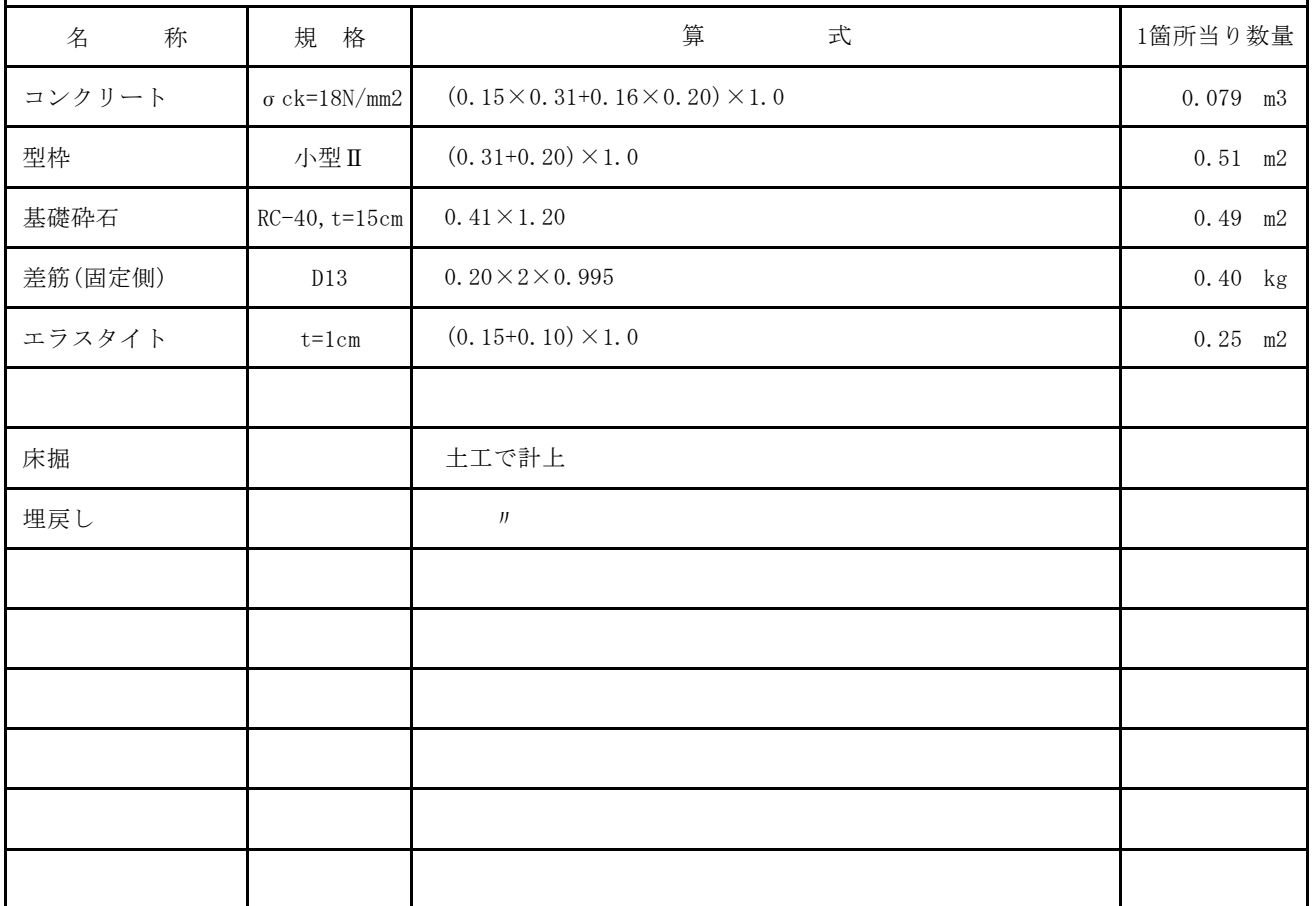
名 称	規 格	算 式	1箇所当り数量
コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	0.05×0.875	0.044 m ³
型枠	小型 I	(0.36+0.10×2) ×0.875	0.49 m ²
床掘		計上なし	
埋戻し		〃	
基面整正		〃	



N=16ヶ所

名 称	規 格	算 式	1箇所当り数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	0.05×0.875	0.044 m ³
型枠	小型 I	$(0.38+0.10 \times 2) \times 0.875$	0.51 m ²
床掘		計上なし	
埋戻し		〃	
基面整正		〃	

数量計算書

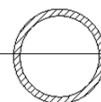


工 去 撤

取壊し・撤去工数量総括表

[illegible]

撤 去 工			延 長 調 書		
床版 B1.0×L1.5×H0.15			HP φ 800		
測 点	数 量	摘 要	測 点	数 量	摘 要
No. 2			IP. 27 ~ IP. 28	13.3	
計	枚		計	13.3 m	
				2.39m3	



取壊し=018m3/m

計 第 表			延 長 調 書		
測 点	数 量	摘 要	測 点	数 量	摘 要
計			計		

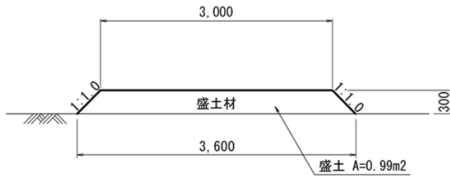
処分工数量総括表

[illegible]

工 設 仮

仮設道路配置図



単位数量計算書		細別	仮設道路工		規格	盛土		10m当り	170m当り											
略 図		項 目 規 格 数量区分		算 式			数 量	数 量												
 <table><tr><th colspan="2">材料表</th><th colspan="2">10m当り</th></tr><tr><td>仮設道盛土</td><td>9.9 m3</td><td></td><td></td></tr><tr><td>盛土撤去</td><td>9.9 m3</td><td></td><td></td></tr></table>		材料表		10m当り		仮設道盛土	9.9 m3			盛土撤去	9.9 m3			工事用道路工						
		材料表		10m当り																
		仮設道盛土	9.9 m3																	
		盛土撤去	9.9 m3																	
		仮設道路盛土		V= 0.99m2×10.00			= 9.90	9.9 m3	168.3 m3											
		購入土		V= 9.9m2×1.33			= 13.17	13.2 m3	224.4 m3											
		盛土撤去		V= 0.99m2×10.00			= 9.90	9.9 m3	168.3 m3											